

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル基礎理論・ネイル基礎演習	担 当 教 官 名	清水昌江・柏原沙織・寶木珠美子・瀬詰友麻・小倉美華
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ネイル検定3級・ネイルアート・爪の基礎的知識		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイルの基礎的な知識・技術を学び下記に示す内容を到達目標に本実習を進めます。</p> <p>①ネイルに関する用具溶剤の名称・用途を理解し、正しく使用することが出来る。 ②ネイル施術に必要な爪の構造や病気の知識を理解する。 ③7月に開催される、ネイリスト技能検定試験3級(JNEC3級)の合格を目指す。 ④様々なアート技法を学び、作品制作を目指す。</p>		
講義計画・内容	<p>①ネイル道具確認・テーブルセッティング ②消毒学/ウッドスティック削り・ネイルケア・カラーリング① ③ネイルアート① ④皮膚及び皮膚の病気/ネイルケア・カラーリング② ⑤爪の病気/ネイルケア・カラーリング③ ⑥爪のスタイリング/ネイルアート② ⑦爪の名称/ネイルアート③ ⑧ネイルの歴史・技術体系/フラワーアート・ネイルアート④ ⑨ネイルアート⑤ ⑩タイムトライアル ⑪ネイリスト技能検定試験3級 通し練習 ⑫ネイリスト技能検定試験3級 模擬試験 ⑬ネイリスト技能検定試験3級 試験準備 ⑭ネイリスト技能検定試験3級 ⑮ネイルアート⑥</p>		
準備学習	授業の復習・練習を行い、技術の上達を目指してください。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム ベーシック ・ 配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100%):小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ネイルの基礎技術を学び、資格取得を目指します。 また、様々なネイルアートの基本を学び、作品制作へ向けてステップアップします。 想像力・表現力・技術力を身につけ、イメージを形にしていきましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	エステティック基礎理論	担当教官名	広瀬晃子
対象学生	1年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	エステティックの歴史・皮膚・化粧品・生理学・衛生		
授業の概要 及び到達目標	<p>エステティックの本質、肌や身体の仕組み、トラブルの原因、美しく健康的に保つために必要な生活習慣・お手入れ方法・食生活など、エステティックに関する基礎的な知識を身に付ける。また、その知識を今後活かせるよう、認定フェイシャルエステティシャン資格を取得し、しっかりと自分のものにしてお客様の状態を正しく判断して最適なアドバイスやお手入れ方法の選択をできるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>1回目; 自己紹介、テキスト(ライン引き)、プリント解説(C11; エステ基礎→課題C11)</p> <p>2回目; プリント解説(C13; フェイシャル基礎、C10; 衛生と消毒、C1; エステティックとは、C2; ホメオスタシス、C3; 身体1)</p> <p>3回目; 自宅演習、課題提出(試験例題C13、C10、C1)</p> <p>4回目; 動画演習、課題提出(試験例題C2、C3)</p> <p>5回目; プリント解説(C5; 皮膚1、C6; 皮膚2、)</p> <p>6回目; 動画演習、課題提出(試験例題C5)</p> <p>7回目; 動画演習、課題提出(皮膚断面図プリント提出)</p> <p>8回目; 動画演習、課題提出(試験例題C6)</p> <p>9回目; プリント解説(C7; カウンセリング、C8; 化粧品、C9; 栄養)</p> <p>10回目; 自宅演習、課題提出(試験例題C7)</p> <p>11回目; 自宅演習、課題提出(試験例題C8)</p> <p>12回目; 自宅演習、課題提出(試験例題C9)</p> <p>13回目; 問題演習(帰れま10)</p> <p>14回目; 問題演習→期末試験</p> <p>15回目; 試験勉強→資格試験</p> <p>※プリント解説でできなかったプリントは自宅演習となります。 ※自宅演習の際、問題演習の解説プリント作成を入れる場合があります。</p>		
準備学習	問題演習を行う		
教科書・教材等	認定FEのテキスト、解説プリント、オンライン問題、課題		
授業の形式 教育機器の活用	対面授業7回、課題8回		
成績評価の方法	期末試験、課題提出		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>対面授業は7回あります。解説をしっかりと聴いて、自宅演習を頑張ってください。難しい内容もあるかもしれませんが、遠慮なく質問をしてください。興味を持って取り組むことで身近に感じて、理解しやすくなると思います。一緒に頑張りましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ビジネスマナーⅠ	担当 教 官 名	近藤 千明
対象学生	第1学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	接客ための基本スキルの習得 サービス接客実務検定取得		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接客実務における基礎的な理解と、サービスを行うために必要な知識、技能を習得し、サービス接客検定試験 3級の合格を目指す。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接客場面における専門用語の理解 ③接客場面における対人技能と実技の習得</p> <p>仕事をイメージし、求められる言葉遣い、接客用語は繰り返しトレーニングし習得する。 社会人基礎力の能力向上と対人コミュニケーション能力を磨き、自分自身に自信を持ち行動できる能力形成を図る。</p>		
講義計画・内容	<p>1 3級対策Ⅰ サービススタッフの資質 2 3級対策Ⅱ 専門知識 3 3級対策Ⅲ 一般知識 4 3級対策Ⅳ 対人技能 5 3級対策Ⅴ 実務技能 6 3級対策 記述対策 7 3級対策 模擬試験 8 3級試験 直前対策 9 2級対策Ⅰ サービススタッフの資質 10 2級対策Ⅱ 専門知識 11 2級対策Ⅲ 一般知識 12 2級対策Ⅳ 対人技能 13 2級対策Ⅴ 実務技能 14 実技試験対策 15 前期まとめ</p>		
準備学習	<p>・テキストは問題形式になっていますので予習・復習に活用してください。 ・教室でできなかったところは次の授業までに必ず取り組んでおいてください。</p>		
教科書・教材等	教科書『すらすら合格 サービス接客検定 準1級・2級・3級 テキスト&問題集』(翔泳社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	<p>評価点(100%)： 小テスト、提出物 平常点(課題取り組み、授業姿勢、授業準備など)</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>・サービス・接客・接客に必要な立居振舞・言葉遣いを繰り返しトレーニングします。 ・サービス・接客・接客の心得を具体的に学びましょう。 ・検定試験は筆記試験ですので知識の定着トレーニングをしましょう。 ・授業で学んだマナーを日常生活に活かしていきましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャル基礎演習	担当教官名	佐藤 / 広瀬
対象学生	第1学年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	フェイシャル基礎技術、接客マナー、おもてなし		
授業の概要 及び到達目標	<p>【日本エステティック協会認定フェイシャルエステティシャン資格】取得に向け、フェイシャルエステティック技術の基礎を身につける。</p> <p>①フェイシャルエステティック技術の基礎を理解し、衛生面・安全面を考慮した技術を行うことができる。</p> <p>②基本の接客マナー、ソワンエステティックのおもてなしができるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーション・シラバス説明 2.ご案内・ターバン/小テスト 3.ポイントクレンジング、ベースクレンジング 4.ポイントクレンジング、ベースクレンジング/小テスト 5.マッサージ基本手技(軽擦法)/小テスト 6. マッサージ基本手技(強擦法)/小テスト 7. マッサージ基本手技(揉捏法)/小テスト 8.悩みに合わせたお悩みケア 9. マッサージ基本手技(打法)/小テスト 10. マッサージ基本手技(振動法)/小テスト 11.ご案内～マッサージ通し 12. クレンジング～マッサージ通し/期末テスト 13.フットケア 14. 学内コンテスト見学 15. コンテスト予選会/エステ祭り 		
準備学習	自分の肌と向き合い、丁寧に扱うことを心がけてきましょう		
教科書・教材等	新エステティック学(技術編I)、理論と技術、技術関連化粧品、器具		
授業の形式 教育機器の活用	演習、フェイシャルエステティック機器		
成績評価の方法	評価点100点(期末テスト、小テスト7回、授業態度など)		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	資格取得に向け、フェイシャルエステティック技術の基礎を学びながら、エステティックの楽しさや面白さを知ってもらえたらと思います。技術の提供にあたり、必要な接客マナーやおもてなしの心も磨いていきましょう。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎理論&演習	担 当 教 官 名	福村純子・こみ山えい子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	クレンジング、スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク・顔のバランス分析		
授業の概要 及び到達目標	<p>①日本メイクアップ技術検定3級取得目標 ②基本のフルメイクテクニック習得</p> <p><実務経験 福村> サロンオーナーとして17年間接客販売を数多くの女性のメイクを担当。短期大学にて卒業式メイクや、成人式メイクをフリーで担当。</p> <p><実務経験こみ山>美容関連の仕事に携わり25年。メイクアップサロンを運営し11年目。パーソナルカラー診断、撮影ヘアメイク、ブライダルヘアメイクを担当。</p>		
講義計画・内容	<p>①授業概要、身だしなみ、道具の確認、肌について、セルフメイク(スキンケア) ②モデルのセッティング、添え手について、顔分析、セルフメイク(ベース) ③化粧水、クリーム、下地、コントロールカラー、セルフメイク(ハイライト・ローライト) ④ファンデーション、コンシーラ、フェイスパウダー、セルフメイク(眉メイク) ⑤ハイライト、ローライト、チーク、セルフメイク(アイメイク) ⑥前回までの手技確認、ポイントクレンジング、全体クレンジング ⑦前回までの手技確認、3級内容通し、セルフメイク(イメージメイク) ⑧3級内容通し、相モデル眉メイク ⑨3級内容通し、相モデル相メイク ⑩メイクアップ技術検定3級 模擬試験 ⑪メイクアップ技術検定3級 最終練習 ⑫メイクアップ技術検定3級試験日 ⑬メイクシート作成の練習、フルメイク練習 ⑭イメージメイク作り、フルメイク練習 ⑮期末テスト</p> <p>【⑤、⑩計2回小テスト有り】</p>		
準備学習	手技・手順の復習を毎週徹底するようにして下さい。		
教科書・教材等	メイクアップ技術検定テキスト2&3級、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100%): 期末テスト、小テスト、平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	フルメイクの基礎を学ぶ授業です。お客様のお肌へのスキンケア、メイクのタッチアップに携わる際の必要なポイントが組み込まれています。常に見られているという意識を心がけて、身だしなみ・言葉遣い・心配り・立ち居振る舞い・道具の清潔感を保ちましょう。疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基準)	専門分野
授業科目名	アドバイザー対策	担当教官名	丸本 美佳
対象学生	第2学年	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45コマ(15週)
授業のキーワード	BAとしての接客スキル、モチベーション、プロ意識を向上させる。店頭で即戦力となれるお客様対応スキルの習得。メイクショーなどBAから派生する業務を学び、ワカクリで成果を披露する。		
授業の概要及び到達目標	<p>BAの仕事についての知識を高め、お客様に寄り添った接客スキルを磨く。即戦力となるようロールプレイングを用いて現場で活かせる接客を身に着ける。①BAとしての1日の業務の流れ、接客の流れを理解する。 ②お客様の気持ちに寄り添った対応ができる。 ③BAとして自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持つことが出来る。 ④メイクショーなどのBAから派生する業務を学び経験する。 ～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとし、メイクレッスンの講師などを務める。</p>		
講義計画・内容	<p>①オリエンテーション(前期の授業の説明・グループディスカッション、ブランドコスメを使おう) 接客について(オープニングからクローズまでの流れを理解する) ②接客実習(オープニングからカウンセリング・ロープレ) ③接客実習(タッチアップからクローズ・ロープレ) ④接客実習(オープニングからクローズまで・ロープレ) ⑤ブランドグループ発表1(スクラップ、メイク準備)※グループワーク ⑥ブランドグループ発表2(発表会) ⑦校外学習 ⑧校外学習フィードバック(それぞれのチームの発表など) ⑨接客実習(タッチアップにフォーカスした接客実習) ⑩接客実習(オープニングからクローズまで・ロープレ) 動画撮影 ⑪メイクショー準備 ⑫メイクショー発表会① ⑬メイクショー発表会② 前期テスト詳細説明 ⑭前期テスト(筆記、実技撮影 ※成績に反映) ⑮テストフィードバック・前期総復習 ※各週3コマ授業</p>		
準備学習	<p>コスメの接客を受ける機会があれば、印象的だったことや、自分も真似したいと思えることをみつけるるように意識して接客内容をよく聞いてくこと。百貨店などでメイクショーをしていたら、どんな話し方、商品の見せ方をしているかなど、ただ見るだけではなく学ぶ視点でみる。</p>		
教科書・教材等	<p>筆記用具・メイク用品一式・動画撮影の授業時に撮影できるものとイヤホン</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>演習</p>		
成績評価の方法	<p>評価点(100%):期末試験(筆記、実技)、平常点(授業態度、身だしなみ、提出物)</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>1年生で培った”イメージする力”を発揮し、2年生からは接客スキルを磨いていきます！皆さんが就職した時に実務に活かせるようにロープレを中心とした授業を行い、接客を通して販売員として大切な心得を習得しましょう。授業内で疑問に思うことは引き続き必ず何でも聞いてください！皆さんが成長するための大切な貴重な授業なので、自分自身の力になる為に質疑応答は必須です。お互いのコミュニケーションを大切にいきましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	イメージクリエイションⅢ	担 当 教 官 名	こみ山えい子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必須	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	イメージメイク・カウンセリング・メイクアドバイス・メイクシート		
授業の概要 及び到達目標	<p>①日本メイクアップ技術検定1級取得目標 ②カウンセリングとイメージメイクについて理解し技術力を習得し、モデルの要望に合わせたメイクとアドバイスが出来るようになる。</p> <p>【実務経験】美容メーカーにて美容アドバイザーとして6年間接客販売を行う。退社後6年間ブライダル事業にてヘアメイク育成、マネジメント業務を行う。現在フリーランスとして11年目。メイクアップサロンを運営し、パーソナルカラー診断・撮影ヘアメイク・ブライダルヘアメイクを担当。JMA認定講師として美容専門学校メイク講師やプロのメイクアップアドバイザー育成業務を行う。</p>		
講義計画・内容	<p>①授業概要、イメージメイク「キュート」理論・実習 ②イメージメイク「エレガント」理論・実習 ③イメージメイク「クール」理論・実習 ④イメージメイク「フレッシュ」理論・実習 ⑤シニアアドバイザー資格認証講習 ⑥シニアアドバイザー資格認証講習・試験 ⑦イメージメイク「キュート・エレガント」 ⑧イメージメイク「フレッシュ・クール」 ⑨イメージメイク実習 ⑩学内サロンシミュレーション ⑪学内サロン ⑫イメージメイク実習 ⑬メイクアップ技術検定1級模擬試験 ⑭メイクアップ技術検定1級試験 ⑮期末テスト</p>		
準備学習	4パターンのイメージメイクが時間内に出来るよう授業外での練習を行って下さい。		
教科書・教材等	メイクアップ技術検定テキスト1級、メイクアップシニアアドバイザー資格認証講習テキスト、メイク道具1式		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100%):期末テスト、平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>難易度の高いメイク検定試験対策授業です。 技術力・接客力・知識力を高め、メイクアップの修整、イメージメイクの応用までの習得をすると同時にお客さまにわかりやすく伝える表現力やアドバイス力が必要となります。 課題に取り組み予習、復習を怠ることなく向き合い合格に向けて頑張りましょう。 疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	エステティック理論Ⅱ トータル美容Ⅰ	担 当 教 官 名	山口 彩
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	化粧品・法律・経営		
授業の概要 及び到達目標	<p>・フェイシャル・ボディ化粧品を中心に化粧品全般に対する目的と機能、使用されている原料を理解し、お客様の肌状態に最適な化粧品を選択できる力をつける。</p> <p>・エステティックと法律がどのように関係するのかを学び理解する。</p> <p>・サロンの経営について、サロンが繁栄するための知識を身につける。</p> <p>《 実務経験 》</p> <p>・トータルエステティックサロン勤務約5年</p> <p>・美容専門学校にて講師約12年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 化粧品学① 2. 化粧品学② 3. 化粧品学③ 4. 化粧品学④ 5. 化粧品学⑤ 6. 特別講習 シロダーラ① 7. 特別講習 シロダーラ② 8. 化粧品学確認復習 / 関連法規① 9. 関連法規② 10. サロン経営学① 11. サロン経営学② 12. 接客マナー① 13. 接客マナー② 14. 前期末試験 15. 総復習 		
準備学習	授業の予習復習を行う		
教科書・教材等	日本エステティック協会 新エステティック学理論編Ⅱ・Ⅲ		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点(100%):期末試験点、小テスト、平常点		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	センター試験、上級の筆記試験の合格に向け、毎回の授業ごとに不明点をなくし着実に理解していきましょう。又、お客様に満足して頂ける結果と安心と信頼を提供出来るエステティシャンを目指し、一緒に正しい知識を身につけていきましょう。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	エステティック理論Ⅲ/トータルエステⅡ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	エステティックカウンセリング学/エステティック機器学/栄養学/公衆衛生・衛生管理学/解剖生理学		
授業の概要 及び到達目標	<p>・カウンセリング学、機器学では精神及び機器の基礎原理、それを行う目的を理解する。</p> <p>・公衆衛生・衛生管理では、衛生管理の遵守に努め、事前の安全策を十分に考え用意すると共に万が一の状況に対応できる知識を備える。</p> <p>・解剖生理学では、人体の構造とそれぞれの働きを理解し正しい施術を行えるようになる。</p> <p>・栄養学では、栄養の必要量や成分を理解し食生活を通して人の健康と美の維持、増進の為の知識を学ぶ。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師18年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 エステティックカウンセリング学 2 カウンセリング学テスト/エステティック機器学① 3 エステティック機器学② 4 機器学テスト/栄養学① 5 栄養学② 6 栄養学③ 7 栄養学テスト/公衆衛生・衛生管理 8 スポーツ科コラボ授業/衛生管理テスト 9 解剖生理学① 10 解剖生理学② 11 解剖生理学③ 12 解剖生理学④ 13 解剖生理学⑤/総復習(実技理論) 14 総復習(実技理論) 15 総復習(実技理論) 		
準備学習	各単元ごとに内容を理解し正しい施術、アドバイスを実践することへ繋げる。又、成績評価につながるテストに向け予習復習へを行うこと。		
教科書・教材等	新エステティック学 理論編 I II III		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点100% [小テスト・平常点]		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	正しく安全で満足いただけるサービス、技術を提供する為、各単元ごとに理解を深め実践に役立てる事が大切です。常に実践をイメージして授業に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	カウンセリングⅡ イメージクリエイション	担 当 教 官 名	中西 香織
対象学生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	メイク技術を取得しコンテストの成功とBAとしての意識を高める		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーを実践的に学び、就職後に即戦力として活躍するために必要な知識、技術、カウンセリング力を習得することを目標に授業を行う。</p> <p>1.メイク技術・スキンケア知識を習得し、ブランドイメージ通りのメイクができる。 2.お客様のご要望に合わせたメイクの提案ができる 3.ロープレを実施しコミュニケーション力を高め販売力のあるBAに 4.コンテスト対策として誰もが魅了する作品をつくる</p>		
講義計画・内容	<p>1.オリエンテーション(他已紹介、自己分析、コンテストに向けて、クラステーマ決め) 2.ブランド別メイク練習①(メイクチャート作成、実技) 3.ブランド別メイク練習②(最新コレクションからブランドの研究) 4.ブランド別メイク練習③(ブランドイメージのメイク実践) 5.コンテストに向けて①(ブランドイメージを固め実践) 6.コンテストに向けて②(ブランドを確定しモデルの選定) 7.コンテストに向けて③(モデル研究、コンテスト会場装飾) 8.コンテストに向けて④(モデルの顔とブランドイメージを合わせたメイク実技) 9.コンテストに向けて⑤(時間内のメイクの完成、トーク練習) 10.コンテストに向けて⑥(メイクの完成、メイクチャートの完成) 11.総仕上げ①(時間通りに仕上げ、イメージ通りのメイク、トークができる) 12.総仕上げ②(時間通りに仕上げ、イメージ通りのメイク、トークができる) 13.テスト対策(コンテストリハーサル) 14.テスト(コンテスト) 15.医建祭</p>		
準備学習	1年時に習得したブランドの復習		
教科書・教材等	筆記用具、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100%:期末試験点、提出物(メイクチャート・小テスト) 平常点(身だしなみ、授業態度、忘れ物、メイク道具等)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	まずはコンテストの成功を目標に、BAになるためのメイク技術・トーク力・コミュニケーション力を磨いていきましょう!!		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	テクニカルメイク	担 当 教 官 名	宮里里苗
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(5週)
授業のキーワード	イメージクリエイション 作品制作 撮影		
授業の概要 及び到達目標	<p>テクニカルメイクはイメージを形に表すことができる想像力と技術力を養う科目である。本講義では下記に示す内容の到達目標に講義及び実習を進める。</p> <p>①撮影に対応した特殊なメイクアップ技を理解し、イメージを構築することができる。</p> <p>②全国規模のコンテストに参加することにより実力の確認と課題の明確化ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1回目 アーティスティックメイクテクニック 2回目 アイゾーンメイクデザイン①・作品テーマ決定 3回目 アイゾーンメイクデザイン②・撮影準備 4回目 撮影 5回目 作品選定・エントリーシート作成</p>		
準備学習	1学年時に学習したデザインの基礎の習得が必須。		
教科書・教材等	JMAテキスト3.2級・1級 筆記用具 メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及びメイク実習 TV機材利用 PC利用 撮影スタジオ機材一式利用		
成績評価の方法	評価点100%:期末試験・課題点・平常点(授業態度等)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>メイクアップの仕事をする上でイメージを形にできる能力は欠かせません。本講義では、普段のメイクアップとは違う特殊な技法を知り表現力の幅を広げます。皆さんの想像力が開花しメイクアップの世界が広がることを目標としています。ぜひ楽しみにしていてください。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	トータル美容ⅠⅡ	担 当 教 官 名	瀬 詰 友 麻
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前 期
必修・選択の別	必修	授業回数	23回(8週)
授業のキーワード	サロンワーク/サロン業務/ロールプレイング		
授業の概要 及び到達目標	<p>サロン業務と接客対応は、ネイリストとして習得することは必須である。 本講義では、下記に示す内容を到達目標として講義を進める。 ①業務内容の基礎を理解し、お客様への丁寧な対応が出来る。 ②業務において、時間管理が出来る。</p> <p>2017年からネイルサロンDivalに入社し、心斎橋店、くずは店で勤務。 2020年に独立し、個人サロンを開業、現在に至る。</p>		
講義計画・内容	<p>1.サロン業務について ・電話対応、予約の取り方 ・カルテ、伝票、領収書の書き方 ・お会計のやり方</p> <p>2.接客対応について ・カウンセリングのやり方 ・身だしなみについて ・ロールプレイングのデモ</p> <p>3.学内サロンと医健祭に向けて ・相モデルでロールプレイング ・学内サロン、医健祭の準備</p> <p>4.学内サロン、医健祭</p>		
準備学習	授業の復習をして分からなかった部分は、次の授業で質問出来るようにまとめておく。ネイリストとしての身だしなみを整えて、授業に出席して下さい。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム(ベーシック/アドバンス/フットケア/ジェルネイル)		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	評価点100%：期末試験、平常点等		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ネイルサロン就職後に必須となるサロン業務と接客対応の授業です。 技術はもちろんですが、接客業として当たり前のことを当たり前に出来るよう(言葉使い、身だしなみ、挨拶等)ロールプレイングを用いて反復練習をすることで自信を持ってお客様対応が出来るようになってほしいです。また、サロンではチームワークも大切になってきます。 スタッフ間のコミュニケーションや協力することの大切さも学んでほしいと思っています。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル演習Ⅱ	担 当 教 官 名	和田 可奈子
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	通年
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	フットジェルネイル、エアブラシ、マシーン、卒業制作(ワカクリ・JESC)、学内コンテスト		
授業の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・フットジェルネイル技術の習得 ・エアブラシ技術の習得 ・マシーンでオフが出来るようになる ・学内コンテストに向けて想像力・技術力を高め作品制作をする ・後期の卒業制作に向けて準備を進める 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエン / ジェルアート 2. フットジェル① / ジェルアート 3. フットジェル② / ジェルアート 4. マシーンオフ① / ジェルアート 5. マシーンオフ② / ジェルアート 6. エアブラシ① / 卒業制作 7. エアブラシ② / 卒業制作 8. エアブラシ③ / 卒業制作 9. 学内コンテスト制作 10. 学内コンテスト制作 11. ジェル検定対策 12. 学内コンテストリハーサル 13. 学内コンテスト制作 14. 学内コンテスト本番 15. 振り返り / 卒業制作 		
準備学習	学習した内容は、よく復習し身につけておくこと。現場で即戦力となる技術なので積極的に取り組んでください。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムアドバンス、JNAテクニカルシステムフットケア		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習		
成績評価の方法	評価点(100%):期末試験点、小テスト、平常点		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生前期は、プロの現場で即戦力として使える技術を学びます。 1つ1つステップアップし、習得していきましょう。 また、卒業制作に向けても取り組んでいきます。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル検定対策Ⅱ	担 当 教 官 名	清水昌江
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	アクリルネイル JNEC アクリルネイルアート アクリルジェル		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイル基礎理論の習得は、美容業界において必要な内容であり、下記到達目標に向けて講義を進める。</p> <p>①爪の解剖生理学から、爪と関わる人体組織機能を理解する ②アクリルネイル用品の役割を理解し、説明できる</p> <p>1997年、サロンワークにつく。1999年から、メーカーに所属し、インストラクターとして商品の開発販売にも携わる。国際ネイルコンテスト審査員も務める。知識技術講習では、初心者からプロネイリストまでを対象としている。</p>		
講義計画・内容	<p>1回目:アクリル基礎① 2回目:アクリル基礎② アクリルアート① 3回目:アクリル基礎③ アクリルアート② 4回目:アクリルイクステンション① アクリルアート③ 5回目:アクリルイクステンション② アクリルアート④ 6回目:jnec対策① アクリルアート⑤ 7回目:jnec対策② アクリルアート⑥ 8回目:jnec対策③ 9回目:コンテスト対策① アクリルジェル① 10回目:アクリルイクステンション③ アクリルジェル② 11回目:JNEC対策④ 12回目:JNEC対策⑤(試験要項や採点基準などの説明) 13回目:JNEC対策⑥ まとめテスト 14回目:JNEC対策⑦ コンテスト対策② 15回目:JNEC対策⑧(秋期1級課題アート)</p>		
準備学習	使用するネイル用品を使い方や役割を理解しておく。定期的に小テストを行う。復習をする。毎授業課題提出をする。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムBasic・Advance		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習実習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	テスト点、平常点、課題提出他		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	アクリルネイルは、ネイルイクステンション技術の基礎に当たります。JNEC試験対策以外に、美容分野で役立つ様々な知識も紹介します。毎回の復習が必須の内容になっています。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステⅡ トータルエステⅢ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対象学生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	55回(15週)
授業のキーワード	フェイシャルトリートメント(機器・マッサージ)		
授業の概要 及び到達目標	<p>・皮膚や生理機能、化粧品役割を理解すると共に 機器の安全な使用法を習得し、肌の状態に合ったトリートメントの 見極めと提供を行えるようにする。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師18年</p>		
講義計画・内容	<p>1 1年次復習(クレンジング・マッサージ) 2 1年次復習(機器(ブラシクレンジング・吸引・粒子有り/無し/酵素)) 3 エスグラ見学 4 フェイシャル機器① 5 特別講義(シロダーラ) 6 フェイシャル機器② 7 特別講義(シロダーラ) 8 フェイシャルマッサージ復習(学内サロン向け) 9 フェイシャル機器③ 10 フェイシャル機器④ 11 フェイシャル機器⑤ 12 フェイシャル機器⑥ 13 総復習 14 総復習(学内コンテスト向けレッスン含む) 15 総復習(学内コンテスト向けレッスン含む)</p>		
準備学習	機器・化粧品に対する知識を理解した上で肌に合ったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I (AJETHTE) フェイシャル実技理論 (AEA)		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100% [小テスト・平常点]		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	肌トラブルの状態を見極め、原因の追求を行い、健康的な 美肌づくりを目標に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ボディエステⅡ	担 当 教 官 名	山口 彩
対象学生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回(15週)
授業のキーワード	ボディ基礎技術、接客マナー、おもてなし、カウンセリング、ボディ機器		
授業の概要 及び到達目標	<p>・身体の生理機能を踏まえ、マッサージや各トリートメントの目的・効果を十分理解し、正しく安全に効果的に行える技術を習得する。</p> <p>・カウンセリングを通して、お客様の要望に応えるための知識や技術を身につける。</p> <p>《 実務経験 》</p> <p>・トータルエステティックサロン勤務約5年</p> <p>・美容専門学校にて講師約12年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボディマッサージ復習 2. G5機器、ボディパーツマッサージ①(後面下肢) 3. G5機器復習確認、ボディパーツマッサージ①(後面下肢) 4. 低周波機器 5. 特別講習 シロダラー 6. 特別講習 シロダラー 7. 低周波機器復習、ボディパーツマッサージ(臀部) 8. 低周波機器確認、ボディパーツマッサージ(前面下肢) 9. マッサージ復習確認/痩身トリートメント 10. ボディパーツマッサージ(腰背部)、キャビテーション 11. 背中トリートメント 12. フットケアトリートメント 13. コンサルテーションシート説明① 14. コンサルテーションシート説明② 15. 総復習 		
準備学習	身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。		
教科書・教材等	新エステティック学テキスト、AEAテキスト		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	評価点(100%)：期末試験点、小テスト、平常点		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様に満足いただける接客や技術が提供できるように技術を習得し、技術と理論をつなげて理解していきましょう。毎回の授業ごとに不明点がないようにし、着実に技術と知識を習得していきましょう。技術的なことはもちろんですが、お客様の心に伝わるトータルなエステティシャンになりましょう。		
【初回持ち物】 テキストはテキスト名 をお願いします。 学生が見てわかるよ うに記入してくださ い。 個数・枚数の指定も。	【4月8日の持ち物】ボディ実習を行える準備、1年生で配布された技術マニュアル、ノート(ルーズリーフなど)、筆記用具、スチームタオル2本、箱ティッシュ1個 回収 ※授業前までに身だしなみチェック、ペットセッティングをできるように時間に余裕をもって登校しましょ。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	特別講義Ⅱ	担 当 教 官 名	山口 彩 / 酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回(6週)
授業のキーワード	特別講義(シロダーラ)・学内サロン・医健祭		
授業の概要 及び到達目標	<p>・特別講義(シロダーラ)では、トリートメントの特徴を理解し技術を習得する。</p> <p>・学内サロン、医健祭では他学年や他学科の学生を対象にトリートメントを行い技術の経験値を増やすことで技術力や接客ノウハウを向上させる。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師18年</p>		
講義計画・内容	<p>1 特別講義(シロダーラ)1 2 特別講義(シロダーラ)1 3 学内サロン 4 4 医健祭① 4 5 医健祭② 4 6 カウンセリング部門対策(グループワーク) 1</p>		
準備学習	トリートメントの流れや手技の復習を十分に行う。		
教科書・教材等	特に無し、都度資料配布		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100% [平常点・技術点]		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	実践形式での演習を行う事で技術、接客共に経験値を高めスムーズなサロンワークに繋げていきましょう。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	特別講義ⅢⅣ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(14週)
授業のキーワード	協会コン「カウンセリング部門」対策・夏期、冬期上級筆記試験対策・特別講義(シロダーラ)		
授業の概要 及び到達目標	<p>・特別講義(シロダーラ)では、トリートメントの特徴を理解し技術を習得する。</p> <p>・協会コン「カウンセリング部門」対策では、学んだ知識と表現力をもってグループワークで取り組む。</p> <p>・夏期、冬期筆記対策では上級資格取得に向け筆記試験対策を行う。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師18年</p>		
講義計画・内容	<p>1 カウンセリング部門対策(説明、グループ分け)3</p> <p>2 カウンセリング部門対策(グループワーク)3</p> <p>3 カウンセリング部門対策(グループワーク)2</p> <p>4 カウンセリング部門対策(グループワーク)1</p> <p>5 カウンセリング部門対策(撮影、編集)2</p> <p>6 カウンセリング部門対策(撮影、編集)2</p> <p>7 カウンセリング部門対策(発表(テスト))1</p> <p>8 学内コンテスト (7・28) 4</p> <p>9 上級筆記対策(ajesthe)2</p> <p>10 上級筆記対策(ajesthe)2</p> <p>11 後期前倒し授業(センター試験対策)2</p> <p>12 後期前倒し授業(センター試験対策)2</p> <p>13 後期前倒し授業(上級筆記対策(AEA))2</p> <p>14 後期前倒し授業(上級筆記対策(AEA))2</p>		
準備学習	<p>これまで学んだ知識を見直しカウンセリングシートの作成に活かす。</p> <p>また試験対策としては問題集を活用し事前学習を行う。</p>		
教科書・教材等	<p>Ajesthe新エステティック学 理論編ⅠⅡⅢ</p> <p>AEAエステティックカウンセリング他</p> <p>各試験問題集</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>演習</p>		
成績評価の方法	<p>評価点100% [課題発表・平常点]</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>カウンセリング部門対策では、グループワークの強みを活かし知識やアイデアを共有しながら進めていきましょう。</p> <p>筆記試験対策では各自のペースで事前に学習を進めていく事が大切です。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	美容業界対策 トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	中西 香織
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回(15週)
授業のキーワード	スキンケア知識とメイク技術を習得し即戦力のBAに！		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーを習得し、就職後に即戦力として活躍するために必要な知識、技術、カウンセリング力を習得することを目標に授業を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. スキンケア知識を習得し、トータルアドバイスができる 2. お客様のお悩みに合わせたスキンケアの提案ができる 3. ロープレを実施しコミュニケーション力を高め販売力のあるBAに 4. コンテスト対策として誰もが魅了する作品をつくる 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション(授業の進め方、スキンケア知識:皮膚、肌について) 2. スキンケア知識(肌タイプ、肌悩みを知る)、ロープレ 3. スキンケア知識(生活習慣がもたらす肌への影響等)、小テスト 4. 医建祭振替のため休講 5. スキンケア知識(年代別肌の変化について)、小テスト 6. スキンケア知識(美容成分を知る、化粧品の選び方、使い方) 7. スキンケア知識(セルフマッサージ、クイックマッサージ法) 8. 宮里先生授業 9. 年代別スキンケア～メイクについて、小テスト 10. カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたスキンケアの提案) 11. カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたメイクの提案) 12. カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたトータルアドバイス) 13. テスト対策 14. テスト 15. 医建祭 		
準備学習	自分のお肌の悩みを分析しておくこと		
教科書・教材等	筆記用具、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100%(期末試験点、提出物(カウンセリングシート・小テスト)、平常点(身だしなみ、授業態度、忘れ物、メイク道具等))		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	まずはコンテストの成功を目標に、メイク技術だけではなくBAとして必要なスキンケア知識・トーク力・コミュニケーション力を磨くための授業です。頑張りましょう！		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ジェルネイルⅡ・トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	柏原沙織
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回(15週)
授業のキーワード	ジェルネイル・JNAジェルネイル技能検定試験(中級・上級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進めます。</p> <p>①ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。 ②JNAジェル技能検定試験 中級合格を目指す。 ③JNAジェル技能検定試験 上級合格を目指し技術習得できる。</p>		
講義計画・内容	<p>1: 授業スケジュール確認・ジェル中級内容復習 2: ジェル フラワーアート 3: ジェル チップオーバーレイ・中級試験要項説明 4: ジェル 中級・フレンチ 5: ジェル 中級・グラデーション 6: ジェル 中級イクステンション・マシーンオフ 7: ジェル 中級タイムトライアル 8: ジェル 中級通し練習 9: ジェル 中級模擬試験(期末試験) 10: ジェル 中級通し練習 11: ジェル 中級最終練習 12: JNAジェル検定中級試験 13: ジェル 上級クリアスカルプチュア 14: ジェル 上級フラワーアート 15: ジェル 上級フレンチ</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題を必ず提出しましょう また、苦手箇所、ジェル検定試験前には自主練習を行いましょう</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	評価点(100%): 期末試験点、小テスト、平常点、課題点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	スチール撮影Ⅰ	担 当 教 官 名	井上 玲菜・森口 珠里
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	撮影、メイク、作品作成		
授業の概要 及び到達目標	基礎を復習しながら、確実にイメージに近づけるようし、臨機応変に対応できるようになる。		
講義計画・内容	1.ヘアーモデル 2.サロン研修 3.舞台メイク①FD②ロー、ハイライト③チーク 4.舞台メイク④眉毛⑤リップ 5.舞台メイク⑥アイメイク(付け睫) 6.Galメイク 7.カラーメイク 8.素材の使い方 9.素材の使い方 10.デザイン、キャラクター作り方 11.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法 12.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法 13.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法 14.撮影(相モデル)1~4限*終わったチームはコンテストのテーマ決め 15.撮影(相モデル)1~4限*終わったチームはコンテストのテーマ決め*/		
準備学習	自身なりの理解を必ず、テキスト、ノートに自分が理解出来る様に書き込み、復習を行い次の授業で活かせるようにし、技術の向上を目指して下さい。		
教科書・教材等	ヘアー、メイク道具一式、筆記用具		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	基礎が大事なので、しっかりと聞きメモを取り、わからないところは質問し、基礎を習得しましょう。 自己作品も最初はやりたいものをたくさん詰め込んでください。 いい作品になるように学んでいきましょう。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎演習	担 当 教 官 名	福村 純子・田村 綾加
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	JMA3級取得を通して、自身の作品作成を行う		
授業の概要 及び到達目標	<p>スキンケアからベースメイクアップと、チーク・ハイライト・ローライトまでの基本技術の過程と仕上がりを学び、JMA3級を取得する。 基本ベースを理解した上で、創造力を発揮しテーマ別ヘアメイクを作成し作品撮影を行う為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①JMA3級取得。 ②基礎的にヘアアレンジ・フルメイクができる。 ③テーマに沿った作品作成ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.JMA3級対策① 2.JMA3級対策② 3.JMA3級対策③ 4.JMA3級対策④ 5.JMA3級対策⑤ 6.JMA3級対策⑥ 7.JMA3級対策⑦ 8.JMA3級対策⑧ 9.JMA3級対策⑨ 10.JMA3級対策⑩ 11.JMA3級対策⑪ 12.JMA3級試験 13.作品作成① 14.作品作成② 15.定期試験 試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。 テキストの予習・復習を必ず行い授業に参加すること。</p>		
教科書・教材等	日本メイクアップ技術検定試験 公式テキスト3級2級・配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>作品作成を楽しみながら学んでいきましょう。自己作品を撮影し記録に残すことは今後の成長や就職活動にも重要になります。本講義では創作する為にどんな点に意識をしたり、どんなものからイメージ作成をするかなども伝えていきますので意欲的に授業に臨んでください。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	フェイシャルエステ基礎演習	担当 教 官 名	広瀬晃子・安井寿美
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履修学期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	エステティックの歴史・皮膚・化粧品・生理学・衛生		
授業の概要 及び到達目標	<p>エステティックの本質、肌や身体の仕組み、トラブルの原因、美しく健康的に保つために必要な生活習慣・お手入れ方法・食生活など、エステティックに関する基礎的な知識を身に付ける。また、その知識を今後活かせるよう、認定フェイシャルエステティシャン資格を取得し、しっかりと自分のものにしてお客様の状態を正しく判断して最適なアドバイスやお手入れ方法の選択をできるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.【C.1 エステティックとは】【C.10 エステティックにおける衛生と消毒】【C.11 エステティックの基礎知識】 2.【C.13 フェイシャルの基礎知識】セルフスキんケア(クレンジング、ローションパック) 3.【C.2ホメオスタシスとストレス】ターバン、クレンジング(人形) 4.【C.3 身体のしくみと働き①】クレンジング、マッサージ(人形) 5.【C.3 身体のしくみと働き①】小テスト①、クレンジング、マッサージ(人形) 6.【C.5 皮膚のしくみと働き①】クレンジング、マッサージ(人形) 7.【C.5 皮膚のしくみと働き①】カウンセリング、肌診断(自己分析) 8.毛穴ケア・カウンセリング機器体験、クレンジング、マッサージ(相モデル) 9.【C.6 皮膚のしくみと働き②】クレンジング、マッサージ(相モデル) 10.【C.6 皮膚のしくみと働き②】小テスト②、クレンジング、マッサージ(相モデル) 11.【C.7 エステティックカウンセリングとは】カウンセリング、肌診断(相モデル)、スケーラー、セルキュア等フェイシャル機器体験 12.【C.8 化粧品の種類と働き】【C.9 栄養の知識】小テスト③、試験対策 13.1組目(トータルフェイシャル) 14.2組目(トータルフェイシャル) 15.資格試験対策・試験解説、美顔器・マッサージ体験</p>		
準備学習	次回授業を行う範囲を一通り読んでおく。		
教科書・教材等	日本エステティック協会「理論と技術」		
授業の形式 教育機器の活用	講義・関係する単元ではエステティック機器使用		
成績評価の方法	定期試験素点70%・平常点20%・出席率10%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>美容という大きな分野では、ヘアメイクだけに限らず、エステティックも知る必要があります。全ての土台となる肌理論を知り、それらを実践できるよう、どんどん積極的に学んでください。今後、お客様へのアドバイスにもつながるよう、まずは、自分の肌で実感していきましょう。わからないことがあれば、質問してください。</p>		

【初回持ち物】 テキストはテキスト名 をお願いします。 学生が見てわかるよう に記入してください。 個数・枚数の指定	日本エステティック協会 理論と技術、ノート(ルーズリーフ)、筆記用具
---	------------------------------------

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ネイル基礎演習	担 当 教 官 名	寶木 珠美子・戸田 咲希・大矢 実咲希
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授 業 回 数	30コマ(15週)
授業のキーワード	爪の基礎的知識・ネイル基礎技術・JNEC3級		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイル業界を知り、基礎技術を習得することは美容業界において大切なことです。下記に示す内容を到達目標に本実習を進めます。</p> <p>①ネイルに関する用具溶剤の名称・用途を理解し、正しく使用することができる。 ②ネイルケア・カラーリング・ネイルアートができる。 ③7月に開催されるネイリスト技能検定試験3級(JNEC3級)の合格を目指す。</p>		
講義計画・内容	<p>①教材確認・テーブルセッティング ②ファイリング ③カラーリング ④ネイルアート ⑤ネイルケア ⑥ネイルケア ⑦総復習 ⑧検定試験の手順説明と実践 ⑨検定試験の手順説明と実践 ⑩タイムトライアル ⑪定期試験 ⑫定期試験 ⑬タイムトライアル ⑭検定試験の準備 ⑮検定試験</p>		
準備学習	授業の復習・練習を行い、技術の上達を目指してください。検定試験の筆記試験内容を小テスト形式で行いますので、技術と同時に筆記試験の勉強もしてください。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム ベーシック・配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習・AV機器・ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	定期試験・平常点(出席・授業態度・小テストなど)		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>ネイルの基礎技術を学び、資格取得を目指します。 また、ネイル業界のトレンドも発信していきます。JNEC3級試験の合格を目指すと同時に様々なネイルについての知識も身につけていきましょう。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基準)	専門基礎分野
授業科目名	ヘアアレンジ I	担 当 教 官 名	石川 倫子・田村 綾加
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ピンニング バックコーム 面		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアスタイルを整えるということは、エチケットとしての一面においても重要な要素ですが、施す内容によっては人物のイメージまでも変えることができます。基礎知識や技術を養い、美容職のプロフェッショナルを志す者として「ふさわしい身だしなみ」を整えられるよう、本講義では下記の内容を到達目標に講義及び実習を進めます。</p> <p>①ブロッキングの重要度を理解し、スライスを正しくとれる ②ホットカーラーを20分以内に、正しく巻くことができる ③イメージ別のヘアスタイリングができる(フォーマル・カジュアル)</p>		
講義計画・内容	<p>1.道具の名称と用途の確認 授業の到達目標の説明 授業ルールの確認 2.ブロッキング と一束 3.ホットカーラー デモンストレーション→実践練習 4.ホットカーラー 全頭巻き30分 5.小テスト【ホットカーラー20分】ピンニング 6.三つ編み・編込み バックコーム 7.<フォーマルレッスン>夜会巻き デモンストレーションと実践練習 8.夜会巻き① 9.夜会巻き② 10.夜会巻き③ 11.夜会巻き④ 12.定期試験対策 13.定期試験 14.相モデルスタイリング 15.試験解説 相モデル似合わせスタイリング</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	毎授業配布するプリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>「美しい身だしなみ」は、お客様からの「信頼」へと繋がります。授業を通して、接客業の基本である「身だしなみ」を整え、求められるイメージに合わせた印象を作れるようになりましょう。授業ではウィッグだけでは無く、相モデルでの施術を行います。自身のヘアはスタイリング剤などを付けない状態で受講してください。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ビジネスマナー I	担 当 教 官 名	吉竹 てるみ
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	サービス接客検定3級級取得を通じて、接客スキルの向上と就職活動に向けての選考対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接客検定試験のテキストを通じて、理解を深め、接客を行う上で求められる資質、専門知識、実務スキルの基本を学びます。 サービス接客検定試験3級について、次に示す内容を到達目標に講義を進めます。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接客専門用語の理解と実践 グループ討議などを通して、対人コミュニケーション能力向上を図ります。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. サービス接客検定① 2. サービス接客検定② 3. サービス接客対策③ 4. サービス接客対策④ 5. サービス接客対策⑤ 6. サービス接客対策⑥ 7. サービス接客対策⑦ 8. サービス接客対策⑧ 9. サービス接客対策⑨ 10. 現場実習に出るにあたっての接客 11. コミュニケーションの取り方 12. 接客マナー 13. トラブル時の対応 14. グループ討議 15. 試験と試験解説 		
準備学習	授業ごとの課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	サービス接客検定3級 実問題集		
授業の形式 教育機器の活用	実習・講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	お客様に満足いただくサービスを提供するためには、専門性の高い美容技術の習得だけでなく、顧客満足度を高めるスキルをサービス接客検定の習得に向けた取り組みを通して、実用性の高い接客スキルを身につけます。自信を持って就職活動に挑めるように社会人基礎知識を実践を交えて習得させます。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	メイクアップ基礎理論	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ・井上玲菜
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スキンケア、ベースメイク、ポイントメイク、フルメイク、顔のバランス分析		
授業の概要 及び到達目標	<p>メイクアップの技術力を強化し幅広いメイクアップの表現を行うことができる。またメイクアップにおけるデザインの基礎を学び表現力を養うため、下記に示す内容を到達目標に講義を進めます。</p> <p>①アイブロウ、リップライン、アイラインなどの技術を短時間で確実に行う力が養われる。</p> <p>②フルメイクができるようになる。</p> <p>③デザインの基礎を学び、イメージに合わせて表現することができる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.自己紹介・技術チェック 2.肌の構造・スキンケア (理論) 3.スキンケア・マッサージ・ベースメイク (理論・技術) 4.ベースメイク(技術) ①ロー、ハイライト②チーク(理論) 5.ベースメイク・ポイント③眉毛・リップ(理論・技術) 6.ポイントメイク①②③④アイメイク(理論・技術) 7.フルメイク 8.自己紹介・技術チェック 9.ヘアー ストレート 10.ヘアー 巻き方 11.cute MakuUp 12. Elegant,Glamorous MakeUp 13.Cool MakeUp 14.フルメイク ヘアー 相モデル 15.テスト フルメイク、ヘアー90分 		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク用教材一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>メイクの基礎を学ぶ授業です。10週目までにフルメイクができるようになり、最終的には学習した内容の総復習としてメイクの作品作りを行っていきます。また日常メイクでの悩みなどがありましたら授業を通してお答えしますので、沢山質問してくださいね。</p>		

2025年度京都医療専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ヘアスタイリング I	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ・井上玲菜
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ヘアアレンジの基礎技術を理解し実践できるようになる		
授業の概要 及び到達目標	ヘアアレンジに必要な道具の理解をしヘアアレンジのパターンを覚え実践できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。 ①正しい姿勢でヘアアレンジができる。 ②基本を活用し応用作品ができる。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.レディースショートブロースタイル 2.レディースミディアム～ロングブロースタイル 3.アシスタントワーク 4.ピンワーク① 5.ピンワーク② 6.ブロー技術 7.アイロン技術を使ったヘアアレンジ① 8.アイロン技術を使ったヘアアレンジ② 9.学内コンテスト対策① 10.学内コンテスト対策② 11.学内コンテスト対策③ 12.学内コンテスト対策④ 13.学内コンテスト対策⑤ 14.学内コンテスト対策⑥ 15.試験解説 		
準備学習	多くの美容雑誌を見て、メイク、ヘアアレンジのパターンを研究しましょう。		
教科書・教材等	配布プリント・ヘアアレンジ教材・タブレット		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	メイクアップ、ヘアアレンジを行うことで無限にモデルのイメージを変えることができます。 基礎、基本をしっかり理解し身に付けることが大切です。基本を習得したうえで応用にステップアップしていきますので、疑問はその都度解消していきましょう。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	就職対策講座 I	担 当 教 官 名	金岡 怜・大矢実咲希
対象学生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	自己分析、業界研究、就職活動、ホスピタリティ		
授業の概要 及び到達目標	<p>接客業に必要なサービスマインド養う。 ヘアメイクアーティストの業界理解を深め、業界で必要なマインドを身に付け主体的に行動できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①業界研究を実施し美容業界の理解し、説明できる。 ②コミュニケーション力を高め、自分から行動できる。 ③プレゼンテーション力を高め、相手に行動をしてもらうことができる。 ④普通救命講習を受講し、応急手当の方法を理解する。</p>		
講義計画・内容	<p>1.アソシエイトホスピタリティ養成講座1 2.アソシエイトホスピタリティ養成講座2 3.アソシエイトホスピタリティ養成講座3 4.アソシエイトホスピタリティ養成講座4 5.アソシエイトホスピタリティ養成講座5 6.アソシエイトホスピタリティ養成講座6 7.業界研究 8.業界研究 9.業界研究就活についての数字や自己分析 10ヘアメイク・ブライダルの雇用形態 11.就職活動の流れを理解する 12.普通救命講習web講習 13.普通救命講習実技講習 14.業界研究 15.試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。 ホームページや情報誌等で色々なサロンを自分なりに研究しよう。</p>		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>美容技術を活かして仕事をする為に、職業を理解することは大切です。コミュニケーションやプレゼンテーションといった力を高めていくことを本講義の中では重視していきます。 将来的な面接対策としてまずは自分を知る。そしてそれをアウトプットできるようになりましょう。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	情報社会学	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ・井上玲菜
対 象 学 生	1年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スチール・動画・編集		
授業の概要 及び到達目標	美容業界においてスチールや動画の編集技術は大変重要です。 様々なテーマのヘアメイクを作品として作成し、作品集を作り上げていきます。 就職活動にブックレットを持参できたり、SNSで美容アカウントを作れるように この講義ではヘアメイクに必要なスチールや映像の編集技術の取得を到達目 標に講義を進めていきます。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.画像編集アプリ 2.動画編集アプリ 3.ナチュラル&フレッシュ 4.カジュアル&ポップ 5.キュート&ガーリー 6.モード&スタイリッシュ 7.エレガント&グラマラス 8.グランジ&ヴィンテージ 9.クリエイティブ 10.韓国オルチャンメイク 11.中国ワンホン&チャイボーグ 12.日本量産型&地雷系&純欲 13.テーマに沿った動画の編集① 14.テーマに沿った動画の編集② 15.定期試験 試験解説 		
準備学習	タブレットの使い方、動画・画像編集の仕方		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	様々なスチール作品や動画作品を見て自身のセンスの幅を広げてください。 編集技術は、作品をどういうイメージに編集していくかが大切です。 技術もちろん大切ですが、同じくらい構成を考えるのも必要になってくるので 雑誌やインターネットを活用して様々な作品に触れてみてください。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータルビューティー I	担当 教 官 名	六川 直哉
対 象 学 生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	現場での即戦力になれるよう限られた時間の中で最高のパフォーマンスを行う。		
授業の概要 及び到達目標	<p>その日一日の仕事でのモチベーションやお客様の思い出の写真、その時々ヘアスタイルは1つの作品として残ります。 ヘアメイクという職業を通じ、お客様のその1日をより豊かに、より楽しく過ごしていただくための一端をになっていると考えています。 本講義では下記の内容を達成目標に講義及び実習を進めます。</p> <p>①4種類のコテ巻きを理解し正しく巻ける ②6種類以上のアップ・ダウンスタイルを作ることができる。 ③20分以内にスタイルを作ることができる。 ④学内コンテストで作成するヘアスタイルを完成させる</p>		
講義計画・内容	<p>1 授業の到達目標の説明 授業ルールの確認 技術復習 コテ巻き 2 コテ巻きテスト スプレーの使い方 ハーフアップ トップアレンジ 3 ハーフアップテスト アップベースの作り方 下目アップ 4 アップベースをつかったアップテスト シニヨン作り方 5 シニヨンテスト 前髪応用 トップシニヨン 6 トップシニヨンテスト ボニーテル 編みおろし 7 編みおろしテスト お団子 高めアップ 8 高めアップテスト コーンロウ フルールヘア 9 編みこみテスト リボンヘア 似合わせの仕方 10 コンテスト対策① 11 コンテスト対策② 12 コンテスト対策③ 13 コンテスト対策④ 14 コンテスト対策⑤ 15 試験解説 テスト</p>		
準備学習	授業が始まる前にウィッグなど教室に用意してください。		
教科書・教材等	ヘア道具一式 ウィッグ ケープorタオル けたぼ ※基本カラーは使用しません。		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ヘアセットは和装、洋装どちらも必要です。 同じスタイルでもニュアンスやシルエット、質感で雰囲気が変わります。 用途に合わせて作る練習をしましょう。 近年ヘアアレンジに小物をつかうことも多く、そのような場面にも対応できるようにしていきます。主にウィッグを使って授業を行うので忘れないようにお願いします。 相モデルもしますのでスタイリング剤はつけてこないでください。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータル美容 I	担 当 教 官 名	増田 京子
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	創造力を高め、より豊かな表現ができるようになる		
授業の概要 及び到達目標	<p><概要>美容業界で必要とされる知識や技術を学び、構想をよりよく練り上げる事が出来るようになる実技をする。</p> <p><到達目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の作品に向き合い準備する力を身に付ける事ができる。 ・頭を豊かにする力を身に付ける事ができる。 ・感性を高め、心に響く作品を作る事ができる。 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1、自己紹介、技術確認 2、アイブロウ 知識 デザインデッサン 3、アイブロウ 4、アイブロウ 5、アートメイク (アニマル) 6、アートメイク (アニマル) 7、アートメイク (アニマル) 8、年代別メイク① 9、年代別メイク② 10、年代別メイク③ 11、年代別メイク④ 12、作品撮影デザイン案 13、作品撮影① 14、作品撮影② 15、試験解説 		
準備学習	与えられた課題に対しての復習や予習は必ず行う事。制作物に取り組む際の準備物は事前に説明しますので早めに準備しておきましょう。		
教科書・教材等	プリント配布。メイク道具一式(私物も含む)。筆記用具。		
授業の形式 教育機器の活用	講義、演習		
成績評価の方法	実技テスト(課題有。時間制限有。) 70% 提出物(出席点含む) 30%		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>実技は相モデルで行います。</p> <p>段のメイクとは違い、1つ1つの技術を捉えたデザインメイクとなっています。自分なりに収集し、授業までにイメージを膨らませ必要な道具は事前に用意するようにしましょう。</p> <p>「表現すること」に楽しみを見出せるような授業になっていますので意欲的に取り組みましょう。</p>		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ヘアスタイリングⅡ	担 当 教 官 名	増田 京子
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	スチール・動画・編集		
授業の概要 及び到達目標	美容業界においてスチールや動画の編集技術は大変重要です。様々なテーマのヘアメイクを作品として作成し、作品集を作り上げていきます。就職活動にブックレットを持参できたり、SNSで美容アカウントを作れるようにこの講義ではヘアメイクに必要なスチールや映像の編集技術の取得を到達目標に講義を進めていきます。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.アイブロウ① 2.アイブロウ② 3.ナチュラル&フレッシュ 4.カジュアル&ポップ 5.キュート&ガーリー 6.モード&スタイリッシュ 7.エレガント&グラマラス 8.グランジ&ヴィンテージ 9.クリエイティブ 10.韓国オルチャンメイク 11.中国ワンホン&チャイボーグ 12.日本量産型&地雷系&純欲 13.テーマに沿った動画① 14.テーマに沿った動画② 15.試験解説 		
準備学習	スマートフォンでの動画撮影、編集		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	様々なスチール作品や動画作品を見て自身のセンスの幅を広げてください。編集技術は、作品をどういうイメージに編集していくかが大切です。技術もちろん大切ですが、同じくらい構成を考えるのも必要になってくるので雑誌やインターネットを活用して様々な作品に触れてみてください。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	美容総合技術 I	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	メイク・シチュエーション別メイク		
授業の概要 及び到達目標	<p>ヘアメイクアップアーティストとして必要な知識、技術を1年次より更に深め、応用技術を取得するため、またクライアントの要望を具体的にし、形にできるようになるために下記の到達目標に講義を進めていきます。</p> <p>①様々なシチュエーションに合ったメイクができるようになる。 ②デザイン性のあるメイク技術を取得する。 ③イメージを具体的に作成できるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. パーソナルプロデュース・似合わせ 2. タイプ別(ガーリー・フェミニン) 3. タイプ別(フレッシュ・カジュアル) 4. タイプ別(エレガント・グラマラス) 5. タイプ別(クール・スタイリッシュ) 6. タイプ別(モード・クリエイティブ) 7. メンズヘアメイク 8. コンテスト対策① 9. コンテスト対策② 10. コンテスト対策③ 11. コンテスト対策④ 12. コンテスト対策⑤ 13. コンテスト対策⑥ 14. コンテスト対策⑦ 15. 試験解説 		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	1年次に学んだメイク技術の応用です。創作力と難度の高い技術力がつく内容になりますので、楽しみながら且つ真剣に学んでいきましょう。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基準)	基礎分野
授業科目名	就職対策講座Ⅲ	担当 教 官 名	金岡 伶・大矢 実咲希
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	業界理解を深め業界に必要な人間力を高める。		
授業の概要 及び到達目標	<p>接客業に必要なサービスマインドを身につける。 ヘアメイクアーティストの業界理解を深め、業界で必要なマインドを身に付け主体的に行動できるようになる為、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。 ①学生が希望する進路に必要なスキル・知識を得て、自らで考え、行動し、就職活動に活かすことができる。 ②業界研究を実施し美容業界の理解し、説明できる。 ③社会人として大切なマナー、一般常識の理解を得て、行動に責任をもてるようになる。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.模擬面接会① 2.模擬面接会② 3.自分に合う職種の求人の探し方① 4.就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第1印象について) 5.就職ガイダンスに臨むにあたって(礼儀作法・第2印象について)(実践) 6.学生それぞれの希望職種に合わせた選考事例研究 7.内定とは、内定礼状の書き方、封筒の書き方 8.一般教養① 9.一般教養② 10.一般教養③ 11.一般教養④ 12.一般教養⑤ 13.仕事の基本 ホウレンソウ 14.1～13回目の総復習 15.試験解説 		
準備学習	授業内の疑問は積極的に確認すること。 毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	定期試験70% 小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	ヘアメイクアーティストとして仕事をする為に、職業を理解することは大切です。コミュニケーションやプレゼンテーションといった力を高めていくことを本講義の中では重視していきます。楽しみながら成長できるように進めていきますので、授業に積極的に取り組んで下さい。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	舞台メイク	担 当 教 官 名	なかぢま ゆうこ
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	舞台メイク・ステージメイク・カツラ		
授業の概要 及び到達目標	<p>舞台に必要な特殊メイク道具が一通り使えるようになり、様々なシチュエーションでヘアメイクアップアーティストとして施術できるように下記を到達目標として講義を進める。</p> <p>①特殊メイク道具の使い方を理解する ②舞台・演劇・舞妓などシチュエーションに応じたヘアメイクができるようになる ③特殊メイクの応用技術を理解する</p>		
講義計画・内容	<p>1.舞台メイク基礎① contourリング 2.舞台メイク基礎②ドーラン 3.舞台メイク基礎③パンケーキ 4.舞台メイク基礎④練白粉 5.ジャンル別メイク(2.5次元) 6.ジャンル別メイク(マーメイド) 7.ジャンル別メイク(ピエロ) 8.ジャンル別メイク(ディズニー) 9.ジャンル別メイク(エイジング) 10.ジャンル別メイク(アメコミ) 11.ジャンル別メイク(宇宙メイク) 12.ジャンル別メイク(ペインティング) 13.ジャンル別メイク(アニマル) 14.ロケ 15.定期試験</p>		
準備学習	授業毎の課題を確実にこなせるよう、復習を必ず行いましょう。		
教科書・教材等	メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	色んなシチュエーションを想定して授業を行っていきます。セルフメイクのときもあれば、相モデルで行うときもありますので、楽しみながら学んでいってください。		

2025年度京都医療専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基準)	専門分野
授業科目名	ヘアメイクアップⅡ	担 当 教 官 名	井上 玲菜・森口 珠里
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	選択必修	授業回数	15コマ(15週)
授業のキーワード	撮影、メイク、作品作成		
授業の概要 及び到達目標	基礎を復習しながら、確実にイメージに近づけられるようし、臨機応変に対応できるようにする。		
講義計画・内容	1.一年生合同ヘアアレンジ① 2.一年生合同ヘアアレンジ② 3.gal 4. Dragqueen 5.クリエイティブメイク(糸、ダンボール、etc…) 6.撮影① 7.撮影② 8. 白黒メイク 9.デザイン、キャラクター作り方 10.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影方法 11.撮影準備(テーマ、モデル決め)撮影準備 12.撮影準備(相モデル)1～4限 13.撮影テスト(相モデル)1～4限 * 終わったチームはコンテストのテーマ決め 14.フォトコン準備 15.フォトコン準備		
準備学習	自身なりの理解を必ず、テキスト、ノートに自分が理解出来る様に書き込み、復習を行い次の授業で活かせるようにし、技術の向上を目指して下さい。		
教科書・教材等	ヘアー、メイク道具一式、筆記用具		
授業の形式 教育機器の活用	講義・実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生は基本的には相モデルでしていただきます。 人それぞれ違う骨格、肌質を持っているので、色々な顔に触れてどんな人が来ても美しく作れるようになり、自身の美も見つけて下さい。		

2025年度京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基準)	専門基礎分野
授業科目名	テクニカルヘアメイクⅠ	担 当 教 官 名	石川 倫子・田村 綾加
対象学生	2年:ヘアメイクコース	履 修 学 期	前期
必修・選択の別	必修	授業回数	30コマ(15週)
授業のキーワード	ブライダル・花嫁衣装・タキシード・撮影		
授業の概要 及び到達目標	<p>1年次に学んだ内容を更にブラッシュアップし、技術・知識ともに下記に示す内容を到達目標に講義を進める。</p> <p>①目指す業界のニーズを理解し、説明できる。</p> <p>②自分のイメージを、より忠実に表現ができる。</p>		
講義計画・内容	<p>11.2年合同授業①</p> <p>2 1.2年合同授業②</p> <p>3 花嫁ヘアメイク 王道</p> <p>4 花嫁ヘアメイク 流行り</p> <p>5 浴衣着付け</p> <p>6 浴衣着付け</p> <p>7 浴衣に合うヘアメイク</p> <p>8 浴衣に合うヘアメイク</p> <p>9浴衣着付け 実技テスト</p> <p>10 浴衣で外部ロケ撮影</p> <p>11 浴衣で外部ロケ撮影</p> <p>12 花嫁ヘアメイク 個性的</p> <p>13 新郎ヘアメイク メンズ</p> <p>14 花嫁ヘアメイク 実技テスト</p> <p>15 試験解説</p>		
準備学習	<p>授業内の疑問は積極的に確認すること。</p> <p>毎授業の復習を実施し、次回授業に備える。</p>		
教科書・教材等	ヘアメイク教材・配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	実習形式		
成績評価の方法	定期試験70%、小テスト(出席点含む)30%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>1年生で学んだ内容をさらにレベルアップして、ブライダルヘアメイクに関する技術や知識だけでなく、ドレスやタキシードについても学んでいきます。最後にはフォトの作成もあるので、分からないことを分からないままにしておかず、必ず質問して理解できるようにしてください。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	ジェルネイル I・特別講義 I	担 当 教 官 名	柏原沙織
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授 業 回 数	60回
授業のキーワード	ジェルネイルの基礎知識と技術の取得・JNAジェル技能検定試験(初級・中級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進める。</p> <p>①ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。</p> <p>②JNAジェル技能検定試験・初級の合格を目指す。</p> <p>実務経験：平成18年～ ネイリストとしてサロン業務を行う 平成24年～ NPO法人 日本ネイリスト協会 認定講師</p>		
講義計画・内容	<p>①ジェルネイルの教材説明/ジェルカラーリング①・キャラクターアート特別授業</p> <p>②ジェルオフ・ジェルアート①</p> <p>③ジェルネイル光と重合の基礎知識/ジェルアート②</p> <p>④ジェルネイル材料に含まれている主要成分/ジェルアート③</p> <p>⑤トレーニングハンドの使用法・ジェルアート④</p> <p>⑥JNAジェルネイル検定 初級 タイムトライアル</p> <p>⑦JNAジェルネイル検定 初級①</p> <p>⑧JNAジェルネイル検定 初級②</p> <p>⑨JNAジェルネイル検定 初級③</p> <p>⑩JNAジェルネイル検定 初級試験</p> <p>⑪ジェルイクステンション①</p> <p>⑫ジェルアート⑤</p> <p>⑬ジェルアート⑥</p> <p>⑭ジェルイクステンション②・ジェルアート⑦</p> <p>⑮ジェルアート⑧</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題は必ず提出しましょう。</p> <p>また、苦手箇所の復習・練習を自主的に行い技術の上達を目指してください。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム ～ジェルネイル～ ・ 配布資料		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100%)：小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。</p> <p>身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	アロマセラピー	担 当 教 官 名	江上 めぐみ
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	アロマセラピー、自然療法、アロマセラピー検定、精油		
授業の概要 及び到達目標	<p>アロマセラピーは、精油と言われる植物の香りとはたらきを利用する、ホリスティックな自然療法です。 心身の美容や健康に働きかけるため、エステ、メイク、ネイルの仕事に携わる上で、必要な知識である。 本講義では、下記に示す内容を到達目標に講義を進める。 ①アロマセラピーの使い方を理解し、説明できる。 ②アロマセラピーが心身に働きかけるメカニズムを理解し、アドバイスできるようになる。 ③アロマセラピーの知識を身に着け、自分で活用できるようになる。</p>		
講義計画・内容	<p>①アロマセラピー検定について アロマセラピーの定義、精油の定義 ②アロマセラピーに役立つ素材 精油のプロフィール ③アロマセラピーの安全性 アロマセラピーのメカニズム ④アロマセラピーの利用法 ⑤精油の抽出方法 アロマセラピーの法律 ⑥アロマセラピーの歴史(課題) ⑦植物園実習 ⑧植物園実習 ⑨アロマ検定模擬試験&回答、解説 ⑩植物園実習レポート(作品) ⑪アロマセラピーとビューティ&ヘルスケア 実習:ハンドクリーム ⑫ルームスプレー ⑬定期試験 ⑭定期試験 解答&解説</p>		
準備学習	<p>テキストの予習、復習を行うこと。 定期的にTeamsにて小テストを行う。</p>		
教科書・教材等	<p>アロマセラピー検定公式テキスト エッセンシャルオイル入門セット(2級) エッセンシャルオイル入門Aセット(1級)</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>講義 実習</p>		
成績評価の方法	<p>定期試験1回、模擬試験1回 40% 平常点(課題提出・小テストの点等)60%</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>アロマセラピーをセルフケアに積極的に活用することで、テストの為に覚えるのではなく自然に身に付きます。 日常生活の中で実践を心がけてください。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	エステティック理論Ⅰ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	エステティックの歴史・ホメオスタシス・皮膚科学・運動生理学・救急法		
授業の概要 及び到達目標	<p>・概論では、エステティックの歴史や世界のエステティック等について理解を深める。</p> <p>・ホメオスタシスでは生命活動の基本原理(自律神経・内分泌・免疫)について理解すると共にエステティックとの関わりについて学ぶ。</p> <p>・皮膚科学では働きとしくみを知り美しく健康に保つための知識を身に付ける。</p> <p>・運動生理学では運動がによって心身に及ぼす影響を知る。</p> <p>・救急法では応急手当や救命処置を知ることによってエステティックサロンでの安全策を準備する。</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師17年</p>		
講義計画・内容	<p>1 エステティック概論①</p> <p>2 エステティック概論②／ホメオスタシス①</p> <p>3 ホメオスタシス②</p> <p>4 ホメオスタシス③</p> <p>5 小テスト</p> <p>6 皮膚科学①</p> <p>7 皮膚科学②</p> <p>8 皮膚科学③</p> <p>9 皮膚科学④</p> <p>10 皮膚科学⑤</p> <p>11 皮膚科学⑥</p> <p>12 運動生理学①</p> <p>13 運動生理学②</p> <p>14 救急法①</p> <p>15 期末テスト</p>		
準備学習	各单元ごとに内容を理解し正しい施術、アドバイスを実践することへ繋げる。又、成績評価につながるテストに向け予習復習へを行うこと。		
教科書・教材等	新エステティック学 理論編 I II III		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点(100%):小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	正しく安全で満足いただけるサービス、技術を提供する為、各单元ごとに理解を深め実践に役立てる事が大切です。 常に実践をイメージして授業に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	アドバイザー対策	担当教官名	丸本 美佳
対象学生	第1学年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	個々の想像力、創造性、表現性、構成力を高め、自ら考えて発信する力を向上する。		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAの仕事に繋げる為に、まず個々の美意識の向上、お客様へパーソナルな提案ができるよう、想像力、創造性を養い、提案力向上の為に基礎を身につける。</p> <p>①BAの業務についての理解を高める。 ②自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持ち身だしなみを整える事ができる。 ③様々なテーマに対し、自分のイメージをメイクや言葉で表現できる。 ④様々なワークを通して、コミュニケーションスキルを高める。</p> <p>～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとしてメイクレッスンの講師などを務める。</p>		
講義計画・内容	<p>①オリエンテーション(自己紹介・今後の授業の説明など) ②ワーク、フェイスチャート実習 ③ワーク、接客の流れ説明 ④ワーク、接客ロープレ ⑤ワーク、テーマ別フェイスチャート実習(次週メイク) ⑥イメージメイク(先週のチャートをもとにセルフメイク&発表) ※以降M実室 ⑦接客ロープレ ⑧印象別メイク(マツとツヤ、眉の明暗などでどんな印象の違いがあるのかなどのデモを通してメイク) ⑨90秒動画撮影 ⑩90秒動画編集 ⑪グループワークイメージメイク準備 ⑫グループワークイメージメイク発表日 ⑬接客ロープレ ⑭後期期末テスト対策日 ⑮後期期末テスト ※各週2コマ授業 ※TOMFORDのセミナー日程決定、川飛先生の授業での自己PR文完成次第スケジュール変更あり</p>		
準備学習	<p>メイクショーを見れる機会がある場合はたくさん見てどんな風に目線を配っているか、商品を見せているか、メイクをしているか、などを見て勉強してください。そして、それを自分に生かすのはもちろんの事、みんなに共有しましょう。</p>		
教科書・教材等	<p>筆記用具・メイク用品一式・色鉛筆 ※初回授業は筆記用具のみ</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>演習</p>		
成績評価の方法	<p>評価点(100%)：期末試験(筆記、実技)、平常点(授業態度、身だしなみ、提出物)</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>授業内でわからないことがあれば、必ず何でも聞いてください！皆さんが成長するための大切な授業なので、自分自身の力になる為に質疑応答は必須です。挨拶、返事は必ず元気よく！お互いのコミュニケーションを大切に、目標達成できるように一緒に頑張りましょう。まずは自分自身の美意識の向上、知識や技術だけでなく、人間力の向上を目指しましょう。お客様への提案力を磨けるよう、想像力、想像性を養い、考えて表現するスキルを磨く授業にしましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	トータルエステ I	担 当 教 官 名	山口 彩
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	フェイシャル基礎技術、接客マナー、おもてなし、フェイシャル機器		
授業の概要 及び到達目標	<p>フェイシャル技術や各トリートメントの目的・効果を十分理解し、正しく安全に効果的に行える知識と技術を習得する。またお客様の肌や目的に合わせてトリートメントできるようになる。</p> <p>《 実務経験 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トータルエステティックスalon勤務約5年 ・美容専門学校にて講師約12年 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション/技術復習 2. 川飛先生特別授業 3. 基本手技(軽擦法、デコルテマッサージ) 4. ディープクレンジング(スチーマー・吸引) 5. 基本手技(強擦法・揉捏法) 6. ディープクレンジング(粒子あり・粒子なし) 7. 基本手技(打法・振動法・圧迫法) 8. ディープクレンジング(スチーマー・酵素) 9. 基本トリートメント通し 10. ディープクレンジング(ブラシクレンジング) 11. 応用マッサージ 12. 期末試験対策 13. 期末試験 14. 1.2年合同授業 15. 総復習 		
準備学習	<p>身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。</p>		
教科書・教材等	新エステティック学テキスト、AEAテキスト		
授業の形式 教育機器の活用	実習		
成績評価の方法	評価点(100%): 期末試験点、小テスト、平常点		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>お客様に満足いただける接客や技術が提供できるように技術を習得し、技術と理論をつなげて理解していきましょう。毎回の授業ごとに不明点がないようにし、着実に技術と知識を習得していきましょう。技術的なことはもちろんですが、お客様の心に伝わるトータルなエステティシャンになりましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル演習Ⅰ・特別講義Ⅱ	担 当 教 官 名	寶木 珠美子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業のキーワード	サロンワーク・ネイル作品制作及びプレゼンテーション		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイリストに必要な技術・コミュニケーション力・想像力を養います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フットネイルの理論・基礎技術を学ぶ ・様々なネイルアートの習得 ・作品制作およびプレゼンテーションが出来るようになる ・サロンワークの基礎力を身につける <p>以上のことを到達目標に授業を進めます。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. フットネイル理論・ケア 2. フットネイルケア・カラーリング 3. フットネイル通し練習 4. 課外授業:OPKビューティシャンフェア 5. ネイルアート① 6. ネイルアート②・作品制作 7. ネイルアート③・プレゼンテーション 8. ネイル商材を学ぶ・ネイルマシーン 9. ジェルネイル①・作品制作 10. ジェルネイル②・作品制作 11. ジェルネイル③・特別講義 12. ジェルネイル④・作品制作・プレゼンテーション 13. JNEC検定対策 14. サロンワーク・冬のハンドケア 15. サロンワーク 		
準備学習	持ち物等授業の事前準備と学習した内容の復習。 課題等の提出期限は必ず守って下さい。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム(フットケア・ジェルネイル)		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100%):出席率・平常点・課題提出など		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	1年生後期は、前期で学んだ基本的な技術のステップアップとして、フットネイル・マシーンワーク・ネイル作品制作に取り組めます。 また、ネイリストに必要なサロンワークの基礎を学びます。技術面はもちろん、コミュニケーション力・チームワーク力・独自性・表現力等を総合的に育みます。 色々なことに挑戦する気持ちで積極的に授業に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル検定対策Ⅰ・特別講義Ⅲ	担 当 教 官 名	清水 昌江
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回
授業のキーワード	アクリルネイル JNEC1級 アクリルネイルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ネイル基礎理論の習得は、ネイリストとして必要な知識である。またイクステンションの知識と技術はネイルサービスを行うにあたり必須の分野であり、下記到達目標に向けて講義を進める。</p> <p>①爪の解剖生理学から、爪と関わる人体組織機能を理解する ②ネイル用品の役割を理解し、説明できる ③イクステンションに必要な商品について理解し、説明できる ④JNEC2級の合格を目指す ⑤アクリルネイル用品についての基礎知識を学び、基礎技術を習得する</p> <p>1997年、サロンワークにつく。1999年から、メーカーに所属し、インストラクターとして商品の開発販売にも携わる。知識技術講習では、初心者からプロネイリストまでを対象としている。</p>		
授業の概要 及び到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. アクリル理論 アクリル① 2. アクリル② アクリルアート① 3. アクリル③ 4. アクリル④ 5. チップ理論 チップ 6. ラップ理論 ラップ チップラップ① 7. JNAフットケア理論検定試験 8. チップラップ② ケアカラー① 9. JNEC2級対策① 10. JNEC2級対策② 11. JNEC2級対策③ 12. JNEC2級対策④ 13. JNEC2級対策⑤ 14. JNEC2級対策⑥ 模擬試験 15. JNEC2級対策⑦ 再試験 16. JNEC2級対策⑧ 17. アクリル⑤ 18. アクリル⑥ 		
準備学習	<p>使用するネイル用品を使い方や役割を理解しておく。定期的に小テストを行う。技術につながる内容は、受講にあたって順に習得が必要なため復習を怠らない。資格習得に必要な技術においては特に繰り返し練習をする。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムBasic・Advance		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	テスト点、平常点、課題提出他		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>美容分野において、ネイル技術は必要な知識技術の一つです。本講義では、JNEC2級試験合格を目指すとともに、実践に役立つ様な知識と技術を学びます。チップラップは、ネイルイクステンション技術の基礎に当たります。ケア・イクステンションともに毎回の復習が必須な内容になっています。毎回の復習が必須の内容になっています。また、進級準備としてアクリル技術の基礎も学びます。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門基礎分野
授業科目名	パーソナルカラー	担 当 教 官 名	日本カラーコーディネーター協会
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	ヘアメイク・ネイルのパーソナルカラー活用法 パーソナルカラー3級合格		
授業の概要 及び到達目標	<ul style="list-style-type: none"> * パーソナルカラーの基本となる理論(持って生まれた色素傾向に合う色)の関係を学ぶ * 自分ブランディング(自分の色素タイプを客観的に見る) * お客様の持っている色素に基づいてパーソナルカラー診断ができる(似合う色の診断) * 色彩活用パーソナルカラー検定3級合格 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> ①パーソナルカラー概要・パーソナルカラーとは何か(似合う色とは?どのように見つける?) 色の三属性について ②似合う色の【基準1】肌・瞳・髪から色素を導き出す ③似合う色の【基準2】ドレーピング体験にて見え方の変化を認識して客観的に見ることを学ぶ ④似合う色の【基準3】ドレーピングデータをパーソナルカラー4つのグループに振り分け・小テスト① ⑤CUD(カラーユニバーサルデザイン)とは何か ⑥課題対応(PCCストーンマップ作成) ⑦色によるイメージのとらえ方1.(トーンの仕組みとイメージ)小テスト② ⑧色によるイメージのとらえ方2. (パーソナルカラー4つのグループのイメージ) ⑨イメージコラージュ作成 ⑩イメージコラージュ作成課題テスト ⑪系統色名・慣用色名グループ分け ⑫色の対比現象・反射・吸収について ⑬柄・素材・アクセサリーの色や質感による似合う色のグループへの振り分け ⑭振り返り(苦手克服)・期末試験 ⑮検定対策 		
準備学習	友達と肌の色味や質感の違い、黒目の色の違いを発見し合ってみよう。テキストに目を通しておきましょう		
教科書・教材等	色彩活用パーソナルカラー検定3級テキスト・3級公式問題集・配色カード199・PCCストーンマップ台紙・CUDテキスト		
授業の形式 教育機器の活用	講義・ドレーピング実習・デモンストレーション		
成績評価の方法	小テスト・課題50%・期末試験50%		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	接客業において物事を客観的に見る力は必要とされます。パーソナルカラーとは客観的に似合う色を導き出すメソッドです。似合う色を見つける楽しさを知り自分自身のブランディングはもちろん、様々なビューティーに活かすことができます。基礎知識を身につけて検定3級合格目指しましょう。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	基礎分野
授業科目名	ビジネスマナーⅡ	担 当 教 官 名	近藤 千明
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	接客ための基本スキルの習得 サービス接客実務検定取得		
授業の概要 及び到達目標	<p>サービス接客実務についての基礎的な理解と、サービスを行うために必要な知識、技能を習得し、サービス接客検定試験 3級の合格を目指す。</p> <p>①ホスピタリティーマインドの理解と習得 ②接客場面における専門用語の理解 ③接客場面における対人技能と実技の習得</p> <p>仕事をイメージし、求められる言葉遣い、接客用語は繰り返しトレーニングし習得する。 社会人基礎力の能力向上と対人コミュニケーション能力を磨き、自分自身に自信を持ち行動できる能力形成を図る。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 2級対策Ⅰ サービススタッフの資質・記述対策 2 2級対策Ⅱ 専門知識・記述対策 3 2級対策Ⅲ 一般知識・記述対策 4 2級対策Ⅳ 対人技能・記述対策 5 2級対策Ⅴ 実務技能・記述対策 6 ミュージカル鑑賞(観劇のマナー) 7 2級対策模擬試験 8 2級試験直前対策 9 準1級面接試験対策① 10 合同授業 試験 11 準1級面接試験対策②実技練習 12 準1級面接試験対策③実技練習 13 就職対策①面接の心得、面接のマナー、第一印象アップのコツ 14 就職対策②面接練習 15 後期まとめ 		
準備学習	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは問題形式になっていますので予習・復習に活用してください。 ・教室でできなかったところは次の授業までに必ず取り組んでおいてください。 		
教科書・教材等	教科書『すらすら合格 サービス接客検定 準1級・2級・3級 テキスト&問題集』(翔泳社)		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点(100%)： 試験、小テスト、提出物 平常点(課題取り組み、授業姿勢、授業準備など)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス・接客・接客に必要な立居振舞・言葉遣いを繰り返しトレーニングします。 ・サービス・接客・接客の心得を具体的に学びましょう。 ・検定試験2級は筆記試験です。知識の定着トレーニングをしましょう。 ・検定試験準1級は実技試験です。ロールプレイングを繰り返し取り組みましょう。 ・第10回合同授業で試験を行います。 ・授業で学んだマナーを日常生活に活かしていきましょう。 		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	フェイシャルエステⅠ	担 当 教 官 名	山口 彩
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	フェイシャル基礎技術、接客マナー、おもてなし、フェイシャル機器		
授業の概要 及び到達目標	<p>フェイシャル技術や各トリートメントの目的・効果を十分理解し、正しく安全に効果的に行える知識と技術を習得する。またお客様の肌や目的に合わせてトリートメントできるようになる。</p> <p>《 実務経験 》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トータルエステティックスalon勤務約5年 ・美容専門学校にて講師約12年 		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション/技術復習 2. 川飛先生特別授業 3. 基本手技(軽擦法、デコルテマッサージ) 4. ディープクレンジング(スチーマー・吸引) 5. 基本手技(強擦法・揉捏法) 6. ディープクレンジング(粒子あり・粒子なし) 7. 基本手技(打法・振動法・圧迫法) 8. ディープクレンジング(スチーマー・酵素) 9. 基本トリートメント通し 10. ディープクレンジング(ブラシクレンジング) 11. 応用マッサージ 12. 期末試験対策 13. 期末試験 14. 1.2年合同授業 15. 総復習 		
準備学習	<p>身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。</p>		
教科書・教材等	<p>新エステティック学テキスト、AEAテキスト</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>実習</p>		
成績評価の方法	<p>評価点(100%):期末試験点、小テスト、平常点</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>お客様に満足いただける接客や技術が提供できるように技術を習得し、技術と理論をつなげて理解していきましょう。毎回の授業ごとに不明点がないようにし、着実に技術と知識を習得していきましょう。技術的なことはもちろんですが、お客様の心に伝わるトータルなエステティシャンになりましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	特別講義 I	担 当 教 官 名	宮里 里苗
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	10回
授業のキーワード 眉トレ アイブローメイク 技術トレーニング			
授業の概要 及び到達目標	<p>アイブロウメイクについて特訓する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールデンプロポーションのついて知識を復習し確実に身に付ける。 ・shu uemura式アイブローペンシルを削れるようになる。 ・ゴールデンプロポーションの眉が時間内に完璧に描けるようになる。 		
講義計画・内容	<p>1.アイブローペンシルの削り方、眉のゴールデンプロポーションについて、自分の顔で練習</p> <p>2.眉トレ① 制限時間9分</p> <p>3.眉トレ② 制限時間8分・アイブローペンシルのメンテナンスについて</p> <p>4.眉トレ③ 制限時間7分</p> <p>5.眉トレ④ 制限時間6分</p>		
準備学習	JMA3.2級テキストのアイブロウメイクアップの部分に目を通しておいてください。		
教科書・教材等	メイク道具一式・JMA3.2級テキスト・カッター・筆記用具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及び相モデルでの実習		
成績評価の方法	素点・平常点・出席点による合計		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>眉のメイクアップは技術的に最も難しい部分です。また流行による形等の変化が激しい部位でもあります。まずはゴールデンプロポーションを確実に理解し技術を施すことが出来る実力を備えることが大切です。クラス一丸となって眉トレを乗り切しましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	特別講義Ⅰ・Ⅱ	担 当 教 官 名	中西 香織
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	10回
授業のキーワード	BAになるためにブランド研究を深め基礎メイク技術を習得する！		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーを習得し、就職活動を円滑に進めるために必要な知識、技術を習得することを目標に授業を行う。</p> <p>1.ブランド別に歴史や企業理念を勉強し理解を深め、ブランドイメージを理解する</p> <p>2.BAとしてブランドイメージに合ったメイク技術の習得</p> <p>3.TPOに合わせたメイク技術の習得</p>		
講義計画・内容	<p>1.オリエンテーション(授業の進め方、BAとは)</p> <p>2.ブランド研究(シャネル、ディオール、YSLジバンシイ)、イメージメイク</p> <p>3.ブランド研究(イプサ、アルビオン、エキップ)、イメージメイク</p> <p>4.ブランド研究(資生堂、コーセー)、イメージメイク</p> <p>5.ブランド研究(面接メイク・証明写真ヘアメイク)、イメージメイク</p> <p>6.ブランド研究(ロレアル)、イメージメイク</p> <p>7.ブランド研究(エスティーローダー)、イメージメイク</p> <p>8.販売実習、レポート提出</p> <p>9.販売実習で習得したことの共有、実践(タッチアップ、ロープレ等)</p> <p>10.テスト(ブランドイメージメイク、ブランドについて筆記)</p>		
準備学習	様々なブランドを見ておくこと		
教科書・教材等	筆記用具、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100%(期末試験点、提出物(カウンセリングシート・小テスト)、平常点(身だしなみ、授業態度、忘れ物、メイク道具等))		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	まずは、様々なブランドを知りイメージに合ったメイク技術を習得しましょう。ブランドの特徴を理解し、就職活動に活かしてBAになる夢を叶えていきましょう！！		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	販売演習、カウンセリング I	担 当 教 官 名	川飛 みちよ
対象学生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	就職活動、販売職、ブランド研究、面接、エントリーシート、SPI、言語能力、表現力、時間管理		
授業の概要 及び到達目標	<p>①美容部員職の就職活動の内容を知る 企業説明会、エントリーシート、履歴書、オンライン面接、対面面接、グループディスカッション、写真、動画、自己PR、私服面接 求人企業、スケジュール</p> <p>②内定獲得に必要なスキルを身に着ける 求人票を理解する、敬語、ビジネスマナー、ブランド研究、文章構成力、言語能力、表現力、トレンド研究、Web操作、算数、時間管理</p> <p>③到達目標 ・美容部員職の業務と求められる人物像を理解する。 ・エントリーブランドを決め、就職活動スケジュールを立てる。</p>		
講義計画・内容	<p>1.2.美容業界、コスメ業界を知る、美容部員職について、美容部員職のキャリアについて 3.4.エントリー内容、科目について 5.6.自己PR文の作成 7.8.学生時代に頑張ったこと文の作成 9.10.面接でよく聞かれる質問についてグループワーク① 11.12.写真撮影、動画撮影について 13.14.オンライン面接の対策 15.16.私服について 17.18.適性試験対策、SPI対策 19.20.グループディスカッション 21.22.面接でよく聞かれる質問についてグループワーク② 23.24.志望動機作成 25.26.27.28.29.第一志望のエントリー内容完成 30.期末試験</p>		
準備学習	化粧品ブランドのSNS、雑誌広告、店頭をチェックする。		
教科書・教材等	配布プリント		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点(100点)→試験点数、平常点(身だしなみ、授業態度等)の合計		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	美容部員職の就職活動の特徴は、①開始時期が早い ②採用試験科目が多種多様で様々な能力が求められる 短期間で求められる人物像になるためには、一つ一つ自分事として認識し、積極的に受講することが大切です。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	コンテスト対策・特別講義Ⅳ・卒業制作Ⅱ	担当教官名	中西 香織
対象学生	第2学年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	55回
授業のキーワード	BAとして必要なメイク技術、スキンケア・フレグランス知識を深めて即戦力のあるBAに！！		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAとしての心得や接客マナーを習得し、就職後に即戦力として活躍するために必要な知識、技術、カウンセリング力を習得することを目標に授業を行う。</p> <p>1.10月にあるフォトコンテストに向けてのメイク技術の向上、誰もが魅了する作品作りを行う</p> <p>2.お客様のお悩みに合わせカウンセリングができるように、ロープレを実施しコミュニケーション力を高め販売力のあるBAに</p> <p>3メイク技術はもちろん、スキンケア・フレグランス知識を習得しBAとしての嗜みを深める</p>		
講義計画・内容	<p>1.オリエンテーション(授業の進め方、フォトコンテストのデザイン案の共有)</p> <p>2.メイク練習(ベース作り)</p> <p>3.メイク練習(ポイントメイク)</p> <p>4.メイク連絡(トータルバランス)</p> <p>5.撮影日</p> <p>6.カウンセリング～メイク(肌知識、スキンケア使用法の復習)</p> <p>7.カウンセリング～メイク(年齢肌に合わせたスキンケアとメイクのご提案)</p> <p>8.フレグランス知識</p> <p>9.外部イベント(IKENエキスポ)、フレグランス知識の復習、テスト</p> <p>10.カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたスキンケアの提案)</p> <p>11.カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたメイクの提案)</p> <p>12. カウンセリング～メイク(お客様のニーズに合わせたトータルアドバイス)</p> <p>13.テスト対策</p> <p>14.テスト</p> <p>15.卒業後にBAとして働くために</p>		
準備学習	フォトコンテストのイメージを固めておくこと		
教科書・教材等	筆記用具、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点100%(期末試験点、提出物(カウンセリングシート・小テスト)、平常点(身だしなみ、授業態度、忘れ物、メイク道具等))		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	まずはフォトコンテストの作品作りの成功を目標に、メイク技術だけではなくBAとして必要なスキンケア知識・トーク力・コミュニケーション力を磨くための授業です。頑張りましょう！		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ジェルネイルⅢ・特別講義Ⅳ	担 当 教 官 名	柏原沙織
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	34回
授業のキーワード	ジェルネイル・JNAジェルネイル技能検定試験(中級・上級)・ジェルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>ジェルネイルを施術するために必要な知識・技術を習得することは必須です。本実習では下記に示す内容を到達目標に進めます。</p> <p>①JNAジェル技能検定試験 上級合格を目指し技術習得できる。 ②ジェルネイルの専門的知識・技術と多様なデザインを習得できる。</p>		
講義計画・内容	<p>1:授業スケジュール確認・ジェル上級・ジェルスカルプチュア 2:ジェル上級・チップオーバーレイ 3:ジェル上級・イクステンション① 4:ジェル上級・フレンチ 5:ジェル上級・フラワー 6:ジェル上級・イクステンション② 7:ジェル上級・イクステンション③ 8:ジェル上級・手順説明 9:JNAジェル検定 中級・上級試験対策① 10:JNAジェル検定 中級・上級試験対策② 11:JNAジェル検定 中級・上級試験対策③ 12:JNAジェル検定 中級・上級試験 13:試験振り返り</p>		
準備学習	<p>演習・プリント等の課題を必ず提出しましょう また、苦手箇所、ジェル検定試験前には自主練習を行い技術上達を目指しましょう</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム～ジェルネイル～		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習		
成績評価の方法	評価表(100%)・小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>ジェルネイルの専門的な知識・技術について学びます。身だしなみ・マナー・用具の衛生管理等を習得した後、JNAジェルネイル技能検定試験合格を目指します。また、サロンワークで使用する技術や多様な人気のデザインも学びますので意欲的に実習に取り組んで下さい。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル演習Ⅲ・卒業制作Ⅱ	担当教官名	和田 可奈子
対象学生	第2学年	履修学期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回
授業のキーワード	卒業制作(ワカクリJESC)、サロンワーク		
授業の概要 及び到達目標	<p>在学中に学んだ事を発揮する場として、卒業制作に取り組む。様々な技法・チームワーク力・独自性を表現し、作品制作やプレゼンテーションが出来る。 また、就職後を意識したサロンワークとして、ジェルネイルのオフ・オン・フィル等を時間内に仕上げることを目標とする。</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. JESC・ワカクリ対策 2. JESC・ワカクリ対策 3. JESC・ワカクリ対策 / サロンワーク①ジェル 4. JESC・ワカクリ対策 5. JESC・ワカクリ対策 / JNEC検定対策 6. JESC・ワカクリ対策 / サロンワーク②ジェル 7. JESC・ワカクリ対策 8. JESC・ワカクリ対策 9. JESC・ワカクリ対策 10. JESC・ワカクリ対策 / JESC中間発表 11. JESC・ワカクリ対策 / ジェル検定対策 12. JESC・ワカクリ対策 13. JESC・ワカクリ対策 14. JESC・ワカクリ対策 15. NAコースリハーサル 16. TBリハーサル ① 17. TBリハーサル ② 18. 会場リハーサル 19. WAKAKURI 		
準備学習	共同制作の打ち合わせや、習得済みの技法を使用した作品制作等は授業外でも進めておくこと。また、学習した内容は見直しよく復習しておくこと。		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステム アドバンス		
授業の形式 教育機器の活用	講義・演習		
成績評価の方法	評価点(100点): 期末試験、課題提出、平常点		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生後期は、在学中に学んだ技術の総まとめとし、JESC・ワカクリ(卒業制作)に取り組めます。技術面だけではなく、就職してから必要なチームワーク力・独自性・表現力・プレゼンテーション力を育みます。これから美容業のプロになるという姿をイメージして、意欲的に授業に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ネイル検定対策Ⅲ・卒業制作Ⅰ	担 当 教 官 名	清水 昌江
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回
授業のキーワード	アクリルネイル JNEC1級 アクリルアート		
授業の概要 及び到達目標	<p>イクステンション技術の習得は、ネイル業界において必要な内容であり、下記到達目標に向けて講義を進める。</p> <p>①爪の解剖生理学から、爪と関わる人体組織機能を理解する ②イクステンションネイル用品の役割を理解し、説明できる ③JNEC1級合格を目指す</p> <p>1997年、サロンワークにつく。1999年から、メーカーに所属し、インストラクターとして商品の開発販売にも携わる。知識技術講習では、初心者からプロネイリストまでを対象としている。</p>		
授業の概要 及び到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. JNEC試験対策① 2. JNEC試験対策② 3. JNEC試験対策③ 4. JNEC試験対策④ 5. JNEC試験対策⑤ 6. 模擬試験 7. JNEC試験対策⑥ 8. アート① 9. JNAフットケア理論検定試験 10. トレンドネイル① アート② 11. トレンドネイル② アート③ 12. トレンドネイル③ 復習 13. まとめテスト 14. テストフィードバック 卒業作品制作① ジェル検定対策 15. 卒業作品制作② 		
準備学習	<p>使用するネイル用品を使い方や役割を理解しておく。定期的に小テストを行う。技術につながる内容は、受講にあたって順に習得が必要なため復習を怠らない。資格習得に必要な技術においては特に繰り返し練習をする。</p>		
教科書・教材等	JNAテクニカルシステムBasic・Advance		
授業の形式 教育機器の活用	講義演習、AV機器、ネイル技術用品及び材料		
成績評価の方法	テスト点、平常点、課題提出他		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	<p>アクリルネイルは、ネイルイクステンション技術の基礎に当たります。JNEC1級試験対策以外に、美容分野で役立つ様々な知識も紹介します。アクリルネイル技術の医学分野での功績や、舞台芸術や映画特撮分野でのネイルイクステンションの世界にも触れていきたいと考えています。</p> <p>毎回の復習が必須の内容になっています。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	ボディエステⅢ	担 当 教 官 名	山口 彩
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	45回
授業のキーワード	ボディトリートメント/卒業試験対策		
授業の概要 及び到達目標	<p>・身体の生理機能を踏まえ、マッサージや各トリートメントの目的・効果を十分理解し、正しく安全に効果的に行える技術を習得する。</p> <p>・カウンセリングを通して、お客様の要望に応えるための知識や技術を身につける。またコミュニケーション力を高める。</p> <p>《 実務経験 》</p> <p>・トータルエステティックサロン勤務約5年</p> <p>・美容専門学校にて講師約12年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリジナル手技の作成、確認 2. カウンセリング対策(ケースヒストリー)① 3. センター試験対策/センター試験 4. カウンセリング対策(ケースヒストリー)② 5. カウンセリング対策(ケースヒストリー)③ 6. 試験対策① 7. 試験対策② 8. マッサージ、機器の総復習 9. 試験対策③ 10. 模試試験 11. 試験対策④ 12. 技術総復習/試験準備 13. 卒業資格・上級資格実技試験 14. 応用技術 15. 総復習 		
準備学習	<p>身体の生理機能、各トリートメントの禁忌事項・注意事項を理解した上で、正しく安全で効果的なトリートメントへ繋げること。</p>		
教科書・教材等	<p>新エステティック学テキスト、AEAテキスト</p>		
授業の形式 教育機器の活用	<p>実習</p>		
成績評価の方法	<p>評価点(100%):期末試験点、小テスト、平常点</p>		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	<p>お客様に満足いただける接客や技術が提供できるように技術を習得し、技術と理論をつなげて理解ていきましょう。毎回の授業ごとに不明点がないようにし、着実に技術と知識を習得していきましょう。技術的なことはもちろんですが、お客様の心に伝わるトータルなエステティシャンになりましょう。</p>		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	フェイシャルエステⅢ/トータルエステⅣ	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回
授業のキーワード	エステティックの歴史・ホメオスタシス・皮膚科学		
授業の概要 及び到達目標	<p>・皮膚や生理機能、化粧品役割に基づいて肌の状態にあったトリートメントを見極め、目的に沿った結果出し、的確なアフターケアアドバイスの提供を習得する。</p> <p>・メイクアップ化粧品の長所を理解し、心理的影響をもたらす技術を習得する</p> <p>※実務経験 エステティックサロンにてトータル美容実務5年 エステティックスクールにて講師17年</p>		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 卒業試験試験説明・口頭試問確認と解説・コンサルテーションシート解説 2 ケースヒストリー① 3 ケースヒストリー② 4 ケースヒストリー③ 5 コンサルテーションシート・マッサージ(オリジナル) 6 フェイシャル通し練習 7 フェイシャル通し練習 8 メイクアップ 9 フェイシャル・メイク通し練習 10 総復習 11 総復習 12 模擬試験(フェイシャル・メイク) 13 総復習 14 総復習 15 合同授業(1年生) 		
準備学習	皮膚機能、化粧品、機器に対する知識を理解した上で肌にあったトリートメントの見極めを行えるようにする事。		
教科書・教材等	新エステティック学 技術編 I (AJETHTE) フェイシャル実技理論 (AEA)		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点(100%):小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	肌トラブルの状態を見極め、原因の追求を行い、健康的な美肌づくりを目標に取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティ科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	化粧品検定対策	担 当 教 官 名	酒巻 裕美
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	皮膚・化粧品・健康		
授業の概要 及び到達目標	化粧品検定2級合格に向けて、皮膚の構造・肌悩みに対する化粧品の選び方・メイクアイテムの使用法・美肌に導く美容知識を習得する。 美容のプロとして必要な化粧品の正しい知識を身に付け、お客様にお伝えてきけるようになる。		
講義計画・内容	1回目:間違いがちな美容知識をチェック(3級・純2級範囲) 2回目:皮膚の構造・皮膚のしくみと働き 3回目:肌タイプと見分け方・肌悩みの原因とお手入れ 4回目:肌を劣化させるさまざまな要因・紫外線が肌に与える影響 5回目:効果的なマッサージの必要性和方法・美しい肌をつくる生活習慣 6回目:メイクアップの基本テクニック・肌悩みに応じた化粧品の使い方 7回目:試験対策・確認テスト / 検定試験		
準備学習	自分の苦手なこと、理解していないことを整理して明確にしておく。 苦手な点、理解できていない点、1年生から2年生前期で指摘されている点をしっかり把握し、就職までにどんな勉強・練習が必要か自分自身で考えてみる。		
教科書・教材等	日本化粧品検定2級・3級対策テキスト		
授業の形式 教育機器の活用	講義		
成績評価の方法	評価点(100%):小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	化粧品検定2級の内容は美容の仕事をする上で基本となってくる知識です。 化粧品の中身や働きを理解し、目的に合った使い方ができることを目指します。 現場で活かせる知識ばかりですので、しっかりと知識を定着させ卒業後も役立ててください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	化粧品心理学・メイクプレゼンテーション・卒業制作Ⅱ	担 当 教 官 名	丸本 美佳
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	65回
授業のキーワード	ワカクリでの動画作成、メイクショーを成功させることで、表現力、自信、ご紹介する事の楽しさを学び、接客にも生かせるスキルを身に付ける。		
授業の概要 及び到達目標	<p>BAの仕事に向けて即戦力となれるようロープレの実施。そして2年間の集大成である若きクリエイター展へ向け、メイクショースキルを身に着ける。</p> <p>①BAとしての1日の業務の流れ、接客の流れを理解する。 ②お客様の気持ちに寄り添った対応ができる。 ③BAとして自分がブランドの広告塔だ！という意識を高く持つことが出来る。 ④動画制作、メイクショーから、表現力の向上、自信、メイクの楽しさを学ぶ。 ～実務経験～2005年～2020年までの15年間MACにて勤務。在籍時は、売り場責任者、イベントアーティスト、デジタルプレスアーティストとして様々な業務に携わる。現在はフリーランスでメイクアップアドバイザーとし、メイクレッスンの講師などを務める。</p>		
講義計画・内容	<p>①オリエンテーション(後期の授業の説明)PPT説明会 ワカクリ展示用動画撮影(展示用の動画) ②ワカクリ展示用動画台本イメージ作成 ③ワカクリ展示用動画撮影 ④ワカクリ展示用動画仕上げ&発表会 ⑤ワカクリ対策① ⑥ワカクリ対策② ⑦ワカクリ対策③ ⑧ワカクリ対策④ ⑨ワカクリ対策⑤ ⑩後期テスト(動画撮影あり) ⑪ワカクリ対策⑥ ⑫ワカクリ対策⑦ ⑬ワカクリ対策⑧ ⑭ワカクリ対策⑨ ⑮ワカクリ対策 ※各週3コマ 卒制に向け、メイクショーの練習を中心に行うのですが、進み具合によって実践に向けて接客ロープレを入れたいため授業内容変更の可能性があります。</p>		
準備学習	メイクショーを見れる機会がある場合はたくさん見てどんな風に目線を配っているか、商品を見せているか、メイクをしているか、などを見て勉強してください。そして、それを自分に生かすのはもちろんの事、みんなに共有しましょう。		
教科書・教材等	筆記用具・メイク用品一式・動画撮影の授業時に撮影できるものとイヤホン ※初回授業は筆記用具のみ		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点(100%)：期末試験(筆記、実技)、平常点(授業態度、身だしなみ、提出物)		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	2年生前期で学んだロープレ、接客に大切なワークを復習しながら、集大成であるワカクリへ向けてしっかり準備をし、表現力を磨き接客スキルの向上へつなげていきましょう。あいさつ、返事など当たり前の習慣を大切に。お互いを尊重しながらコミュニケーションを大切にし、皆さんが就職した時に円滑なコミュニケーションが取れる人材であるよう、販売員として大切な心得を習得しましょう。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	卒業制作Ⅰ・卒業制作Ⅱ・トータル美容Ⅱ	担 当 教 官 名	伊藤真央
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	60回
授業のキーワード	産学連携、企業課題、プレゼンテーション、AEA		
授業の概要 及び到達目標	若きクリエイター展(卒業制作発表会)に向けて、今まで習得したエステティシャンとしての知識・技術で企業課題や自身で決定した課題に取り組む。コース一丸となってチームワークを身につける。		
講義計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1.産学連携オリエン(エビル様) 2.卒業制作(内容、スケジュール決め、浅見先生授業) 3.卒業制作 4.フレッシュヤーズ研修 5.卒業制作 6.卒業制作 7.卒業制作 8.卒業制作 9.学内審査 10.卒業制作 11.卒業制作 12.卒業制作 13.卒業制作 14.リハーサル① 15.リハーサル② 16.リハーサル③ 17.リハーサル④ 18.若きクリエイター展本番 		
準備学習	自分の2年間の集大成をどの様に表現するか考えておくこと。		
教科書・教材等	各企業様から配られた資料等		
授業の形式 教育機器の活用	実習 エステティック機器		
成績評価の方法	評価点(100点)→試験点数、平常点(身だしなみ、授業態度等)の合計		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	悔いが残らないよう、2年間学んできたことを最大限発揮してください。PDCAサイクルを意識して行動してみてください。最後までチームワークを心がけて取り組んでください。		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	卒業制作	担 当 教 官 名	宮里 里苗
対 象 学 生	第2学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	15回
授業のキーワード	卒業制作 I		
授業の概要 及び到達目標	・メイクアップ作品を制作しポスターとして仕上げ、卒業制作発表で展示する		
講義計画・内容	1.ガイダンス・チーム編成 2.ポスター制作準備 3.ポスター制作準備 4.ポスター制作準備 5.ポスター制作準備 6.ポスター制作準備 7.ポスター制作準備 8.ポスター制作準備 9.ポスター制作準備 10.撮影リハ 11.撮影 12.撮影 13.撮影 14.撮影 15.撮影		
準備学習	前期で習得した知識と技術を復習しておくこと		
教科書・教材等	メイク道具一式・筆記用具一式		
授業の形式 教育機器の活用	講義及び相モデル、外部モデルでの実習		
成績評価の方法	素点・平常点・出席点による合計		
担当教官から (履修に当たっての留意 点)	グループで制作する機会が増えます。このグループワークの経験は社会人になった時にもとても役に立ちます。2年間の集大成である卒業制作発表会に向けてクラス一丸となって頑張りましょう！		

2025年度 京都医健専門学校 授業計画(シラバス)

学 科	トータルビューティー科	授業科目区分(基専)	専門分野
授業科目名	テクニカルメイクⅠ・Ⅱ	担 当 教 官 名	こみ山えい子
対 象 学 生	第1学年	履 修 学 期	後期
必修・選択の別	必修	授業回数	30回
授業のキーワード	ベースメイク、フルメイク、顔のバランス分析、イメージメイクの構成		
授業の概要 及び到達目標	①シュウウエムラメイクアップ技術検定試験 ②基本のフルメイクテクニックの習得 ③日本メイクアップ技術検定1級対策 【実務経験】 美容メーカーにて美容アドバイザーとして6年間接客販売を行う。退社後、ブライダル事業部にて6年間ヘアメイク育成、マネージメント業務を行う。現在フリーランスとして11年目。ブライダルヘアメイク、メイクレッスン、パーソナルカラー診断セッション、パーソナルカラーリスト養成スクールのメイク講師、社団法人JMA認定講師として美容専門学校のメイク講師、プロのメイクアップアドバイザー育成業務を行う。		
講義計画・内容	①シュウウエムラメイクアップ検定試験について、テーブルセッティング、目的 ②スキンケアについて実習 ③前回までの手技確認、メイクオブベースメイクについて実習 ④前回までの手技確認、リップ、アイシャドウについて実習 ⑤前回までの手技確認、アイライン、マスカラ、アイブロウリップについて実習 ⑥前回までの手技確認、フルメイク ⑦フルメイクバランス実習 ⑧フルメイクバランス実習 ⑨シュウウエムラメイクアップ技術検定試験/模擬試験 ⑩シュウウエムラメイクアップ技術検定試験日 ⑪メイクアップ技術検定1級対策、イメージ操作につて、顔の印象分析 ⑫メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクの構成、色・形・質感について ⑬メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクテクニック ⑭メイクアップ技術検定1級対策、イメージメイクテクニック ⑮メイクアップ技術検定1級対策、メイクアップの強弱と印象		
準備学習	週に1日の授業の為、手技・手順の復習を毎週徹底するようにして下さい。		
教科書・教材等	シュウウエムラメイクアップ技術検定テキスト、メイク道具一式		
授業の形式 教育機器の活用	演習		
成績評価の方法	評価点(100%):期末テスト・小テスト・平常点など		
担当教官から (履修に当たっての留意点)	シュウウエムラメイクアップの手技を中心に、フルメイクについての理論と技術を学ぶ授業です。第2学年のメイク検定1級取得に向けての重要なポイントが含まれていますので聞き逃しのないように向き合い日々練習を重ねて下さい。そしてクラス全員で合格に向けて頑張りましょう。疑問点等が出てきた場合は積極的に声をかけて下さいね。		